

東京放射線

2015年4月号

Vol.62 No.727



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

連 報 告 平成26年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会アンケート調査結果
会 告 平成27年度多摩支部研修会
載 第9回「Fracture-Cross Search-」
—登録事項変更届
—研修会等申込書

卷頭言 篠原健一

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、性・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

目 次

スローガン

三、二、一、
生涯教育・専門教育の推進
地球環境と調和した医療技術の向上
チーム医療の推進

診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 節目	4
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会	5
会告2 平成27年度多摩支部研修会	6
会告3 第46回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育がゆく/入会促進＞…学術教育委員会	7
会告4 平成27年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」 (第45・47回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	8
会告5 第13回ペイシェントケア学術大会	9
お知らせ1 学術教育委員会からのお知らせ	10
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	11
平成26年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会アンケート調査結果	12
連載 誌上講座 第9回「Fracture -Cross Search-」	荒殿太朗、高橋克行
こえ	21
・「OTAふれあいフェスタ」に参加して	浦田尚吾
・第42・43回日暮里塾ワンコインセミナー「乳腺装置の管理」に参加して	阿曾真弓
・「MRI集中講習会」を受講して	安藤千知
・第15地区研修会に参加して	高沢慶介
・地区委員として第15地区研修会に参加して	川崎獎太
・第5地区研修会に参加して	鈴木正晴
・第54回きめこまかな生涯教育に参加して	鳥井志真子
NEWSひろい読み	32
パイプライン	
・超音波画像研究会 第239回定例会、エコーの寺小屋	35
平成26年度第11回理事会報告	36
平成27年1月期会員動向	40
登録事項変更届	42
研修会等申込書	43

Column & Information

・公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会 準備委員・職員名簿	24
・「東京放射線」5月号のお知らせ	25
・イエローケーキ1	26
・イエローケーキ2	34
・求人情報	39
・学術講演会・研修会等の開催予定	41

卷頭言



節 目

会長 篠原健一

既に本会誌や各方面からの通達等により周知のことと思うが、昨年「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」により診療放射線技師法が改正され、4月1日よりいわゆる診療放射線技師の業務範囲が拡大する。われわれが目指す、診療放射線技師法の抜本的改定にはまだまだ道のりは遠いが、1951年（昭和26年）、「診療エックス線技師法」が公布・施行後、1968年（昭和43年）に診療放射線技師の区分が新設されて以降では最大の改定であり記念すべき年であると思う。そして今年はわれわれ及び日本にとっていくつかの記念（周年）が重なっている。

今年は戦後70年と色々な場面で語られる。はるか昔に感じる人が大勢を占める時代になったとも思うが、私が生まれるわずか15年ほど前までアメリカを主とする連合国と戦争をしていたのだと思うと、個人的にはそれほど大昔という感じはしない。

それよりさらに50年前、今から120年前にエックス線が発見された。言うまでもないが診療放射線技師の仕事は、1895年にレントゲン博士（Wilhelm Conrad Röntgen）がエックス線を発見したことに起源を辿ることができる。人体にエックス線という放射線を照射し透過画像を得ることから始まり、今ではエックス線CTに代表されるコンピュータによる断層像や3D画像、放射性同位元素による検査、各種放射線によるがん治療、放射線を使わない画像診断検査（MRIや超音波検査など）、総合的な医療デジタル画像の管理、読影の補助（一次読影）、検査説明、被ばく相談など、携わる領域は多岐にわたる。今年、日本診療放射線技師会は、6月5日（金）にエックス線発見120周年記念式典を挙行する。また、11月には日本におけるエックス線技術発祥の地といえる「京都」で、第31回日本診療放射線技師学術大会が開催される。これら記念行事・事業に多くの会員の参集をお願いする次第である。

東京都診療放射線技師会は診療エックス線技師法制定の前年、1950年（昭和25年）創立、1980年（昭和55年）法人化、2011年（平成23年）からは公益社団法人として診療放射線技師の資質・技術向上のための事業を推進している。今年は創立65周年（法人化35周年）である。その東京では約50年前（戦後19年、1964年）に日本初のオリンピックが開催された。2020年（5年後）にはまたスポーツの祭典が東京にやってくる。海外の人々が日本の医療機関を受診した際に少しでも安心できるような診療放射線技師の育成（語学・接遇など）にも着手したいと考えている。そしてわれわれはその前年（2019年）に東京で診療放射線技師学術大会を開催する準備を進めている。これは可能な限り国際的な大会になるよう調整中である。

○○周年（年記念）は、区切りや到達・達成という意味合いであると「節目」と呼ばれることもある。私的には、2011年度に本会をお預かりして3期目の後半の年（5年目）となる。前述した多くの節目の礎を築いていただいた先人、先輩並びに現役諸氏に敬意を表するとともに、現代のわれわれも未来に向けた活動を展開しなければならない。今年度も冒頭の業務範囲拡大に伴う統一的な安全講習会も含め、国民の皆様の安心・安全な医療を確保するために、資格名称に「診療」を冠した医療技術職能として事業を推進する所存である。

会告

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会 開催の件

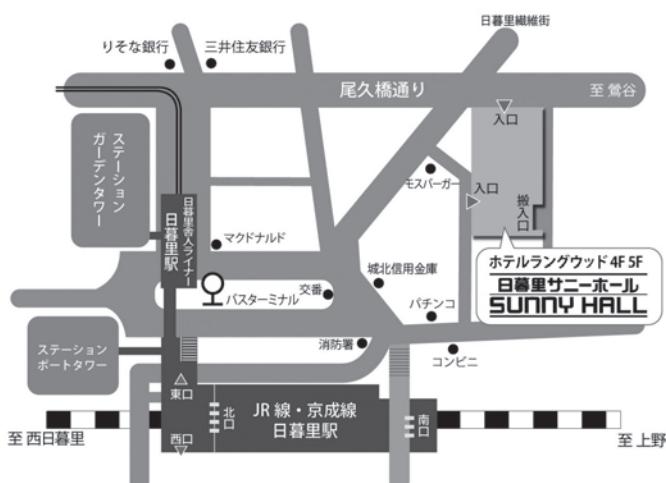
記

開催日：平成27年6月27日（土）
受付：15時00分～
総会会場：日暮里サニーホール
荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4階
Tel 03-3807-3211
交通：JR日暮里駅南口より徒歩1分

議	事：第1号議案	平成26年度事業報告（案）
	第2号議案	平成26年度決算報告（案）
		平成26年度監査報告
	第3号議案	平成27年度事業計画（案）
	第4号議案	平成27年度予算（案）

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会
会長 篠原 健一



お願い

1. ご出席の際は、必ず総会資料である会誌「東京放射線」5月号をご持参してください。
 2. 本会告をもって案内状と致します。
多数の会員のご出席をお願いします。



多摩支部研修会

テーマ1 「MR I 安全管理」

講 師：東京都済生会中央病院 江田哲男 氏

テーマ2 「脳梗塞を見逃すな！～種類とその見え方～」

講 師：杏林大学医学部付属病院 山村 恒 氏

今回の多摩支部研修会のテーマは二つ。

一つ目は「MR I 安全管理」です。MR Iに関する事故は後を絶ちません。事故の恐ろしさを再認識していただき、安全管理の必要性を再認識していただきたいと思います。

二つ目は「脳梗塞を見逃すな！」 芸能界でも多くの方が脳梗塞を発症しています。早期に発見できれば、ADLの低下も少なく社会復帰ができるまで医療は進んでいます。脳梗塞の早期発見につなげるためにぜひ、新人の方に参加していただき診る目を養っていただきたいと思います。また、ベテランの方も脳梗塞について再度確認していただければと思っております。

皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成27年4月28日(火) 19時00分～20時30分 (受付開始16時30分～)

場 所：国分寺労政会館 第4会議室

東京都国分寺市南町3-22-10 TEL 042-323-8515

アクセス：JR中央線『国分寺駅』南口下車 徒歩5分

受 講 料：診療放射線技師1,000円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

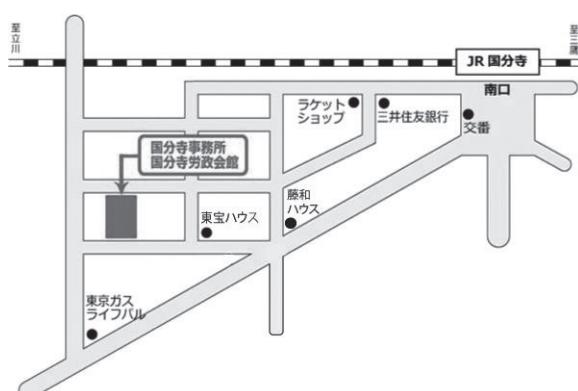
申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。(※当日参加も可能です)

問い合わせ：第13地区委員長 崎浜 秀幸 E-Mail : area13 @tart.jp

第12地区委員会 鈴木 晋 E-Mail : area12 @tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



第46回

日暮里塾ワンコインセミナー<学術教育が行く/入会促進> 「ミエログラフィ」 ～造影検査からCT撮影まで～

第45回日暮里塾ワンコインセミナー<学術教育が行く/入会促進>の第2弾はミエログラフィを取り上げます。

ミエログラフィは整形領域で昔から行われている検査の一つです。検査内容は習得しているものの疾患に対する知識はやや不足している感があるかと思います。今回は検査の基本から症例など含め、幅広く解説を予定します。

多くの参加をお待ちしております。

19:00—19:10 技師会紹介

19:10—19:30 ミエログラフィの基礎（解剖、検査方法（透視））

公立福生病院 佐藤 靖高

19:30—20:15 ミエログラフィのCT（CT検査および臨床）

東京都済生会中央病院 河内 康志

記

日 時：平成27年6月12日(金) 19時00分～20時30分

場 所：東京都済生会中央病院 新棟7階 第1会議室

〒108-0073 東京都港区三田1-4-17

ア ク セス：赤羽橋駅赤羽橋口出口から徒歩約2分

芝公園駅A2出口から徒歩約6分

麻布十番駅3出口から徒歩約9分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円（当日徴収）、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



会 告

4

平成27年度診療放射線技師のための 「フレッシャーズセミナー」開催のお知らせ

第45・47回日暮里塾ワンコインセミナー「新入会促進セミナー」合同開催

主催 公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人東京都診療放射線技師会

このたび平成27年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」を開催いたします。

これは公益社団法人日本診療放射線技師会と公益社団法人東京都診療放射線技師会の共同企画であり、新人診療放射線技師を対象としたセミナーです。このセミナーの特徴は、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチケット・マナーを学ぶだけではなく、診療に対応できるよう知っておくべき基礎知識の習得を目的として開催します。また同時開催として日暮里塾ワンコインセミナーを開催いたします。新入会促進セミナーとして好評をいただいているセミナーでフレッシャーズセミナーと共通した部分が多く、合同開催することでより内容が充実したセミナーになると考えております。

今回は同じ内容で2回開催いたします。ご都合の良い方を選びご参加ください。

プログラム

	時 間	科 目
1	9:00—10:00	エチケット・マナー講座／社会人講座
2	10:00—12:00	感染対策講座（講義・実習）
3	12:45—13:15	技師会活動紹介
4	13:15—14:15	医療安全対策講座
5	14:15—15:15	胸部単純撮影講座
6	15:15—16:00	画像診断用解剖学講座（XP、CT、MR画像を中心に）
7	16:00—16:30	入会案内／閉講式

記

日 時：1回目 平成27年5月31日（日）9時00分～16時45分（受付開始8時30分～）

2回目 平成27年6月14日（日）9時00分～16時45分（受付開始8時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受講対象者：あらたに診療放射線技師として勤務する者を優先とする。

受 講 料：無料

申込方法：5月号に詳細掲載

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第13回ペイシェントケア学術大会 テーマ 「がん患者をサポートする医療者」

開催日：平成27年6月27日(土)

開催場所：日暮里サニーホール（ホテルラングウッド4階）

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5

参加費：診療放射線技師1,000円 他職種及び一般参加者 無料

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

後 援：東京都(予)・荒川区(予)・(公社)東京都看護協会(予)・東京都内視鏡技師会

(公社)東京都臨床検査技師会(予)・(公社)東京都歯科衛生士会(予)

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修4.5カウント付与

～プログラム～

9:55～ 主催者挨拶 第13回ペイシェントケア学術大会大會長 篠原健一
(公益社団法人 東京都診療放射線技師会 会長)

10:00～10:55 パネルディスカッションⅠ 「がん検査をサポートする医療者」

1. 内視鏡技師して求められる役割
2. 臨床検査技師（尿素呼気検査法）として求められる役割
3. 診療放射線技師（検診の立場から）として求められる役割

11:00～11:55 パネルディスカッションⅡ 「がん患者をサポートする医療者」

1. がん専門看護師として果たすべき役割
2. 管理栄養師（術後の食事管理）として果たすべき役割
3. 歯科衛生士（口腔管理）として果たすべき役割

12:00～12:45 ランチョンセミナー

「良質な消化管検査を支える検査器具、薬剤」

カイゲンファーマ株式会社、堀井薬品工業株式会社、伏見製薬株式会社

13:35～14:25 教育講演

「胃がん検診から治療まで～バリウム検査の必要性と診療放射線技師の役割」

講師 埼玉県立がんセンター 腰塚慎二 先生

14:25～15:15 特別講演（市民公開講座）

「カプセル内視鏡の最新情報（仮）」

<会場外 カイゲンファーマ(株)、伏見製薬(株)、堀井薬品工業(株)による消化管検査関連製品展示>

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

お知らせ

1

学術教育委員会からのお知らせ

日暮里塾ワンコインセミナーの開催は、研修センターのある日暮里を中心を開催をしておりましたが、平成27年度は都内各所（6回予定）に出向き開催を予定いたします。

名称は「日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞」とし、一人でも多くの方に技師会を見ていただき、入会ならびに自己研鑽の場として活用していただきたいと考えております。加えて東京都診療放射線技師会が都民の医療を担う団体として、皆さまの協力のもと成長したいと考えております。

・・・日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞・・・

Part1 第44回日暮里塾ワンコインセミナー （終了しました）

日時：平成27年3月11日（水） 場所：三鷹産業プラザ

内容：着眼点＜咳＞

講師：山下晃司（杏林大学医学部付属病院）

Part2 第46回日暮里塾ワンコインセミナー

日時 H27年6月12日（金） 場所：東京都済生会中央病院

内容 ミエログラフィ（透視検査からCT撮影まで）

講師 佐藤靖高（公立福生病院）

講師 河内康志（東京都済生会中央病院）

Part3 日時 H27年7月 場所：順天堂大学医学部附属順天堂医院

内容 着眼点＜頭痛＞

講師 鈴木雄一（東京大学医学部附属病院）

Part4 日時 H27年9月 場所：帝京大学医学部附属病院

内容 救急撮影関連（仮称）

講師 森 剛（帝京大学医学部附属病院）

Part5 日時 H27年11月 場所：東芝病院

内容：未定 講師：未定

Part6 日時 H28年1月 場所：江戸川方面

内容：未定 講師：未定

◆詳細は会告にてお知らせいたします。

◆問い合わせ 学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

お知らせ 2

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川方面・千葉方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。

トップページの
ここをクリック

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

お知らせ

地区紹介ページ

厚生調査委員会
アンケート結果

2014年度
研究会イベント等の開催予定

会員登録

入会のご案内

入会のご案内

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離辺式サ...
2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新しま...
2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾フンコイン...
2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（...
2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2...
2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/...
2014/10/06 【研修会】第7地区研修会（第1回）（...
2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART・S...
2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾フンコイン...
2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮...
2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ...
2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾フンコイン...
2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3...
2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかなか生涯教...

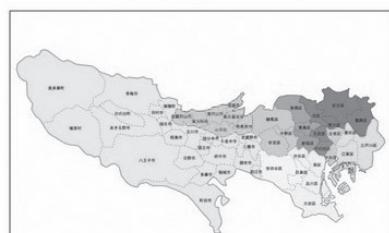
なお、毎月月替りで、各地区的特色や活動を紹介しています。
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

情報委員会



城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第3地区	豊田区	江戸川区
	第4地区	千葉方面地区	千葉地域
城南支部	第4地区	港区	渋谷区
	第5地区	品川区	大田区
	第6地区	世田谷区	目黒区
	第7地区	神奈川方面地区	神奈川地域
城西支部	第3地区	新宿区	
	第8地区	板橋区	墨田区
	第9地区	練馬区	中野区
城北支部	第10地区	文京区	杉並区
	第5地区	北区	
	第6地区	足立区	荒川区
	第7地区	埼玉方面地区	埼玉地域
多摩支部	第11地区	西多摩郡	東久留米市
	第12地区	清瀬市	東大和市
	第13地区	小平市	武蔵村山市
		上記	第1~2地区以外の多摩地域



平成26年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会 アンケート調査結果

厚生調査委員会

多くの施設のご協力をいただきて実施した平成26年度アンケート調査の集計が完了しましたのでご報告致します。

調査内容：各施設における新人教育の実態

期間：平成26年12月1日～12月31日

調査対象施設数：30

有効回答数：100

回答率：33.3%

◆回答していただいた施設の内訳

施設形態	施設数
病院（500床以上）	29
病院（200～499床）	32
病院（199床以下）	36
診療所・クリニック	0
その他	0
無記載	3
合計	100

◆女性技師の割合

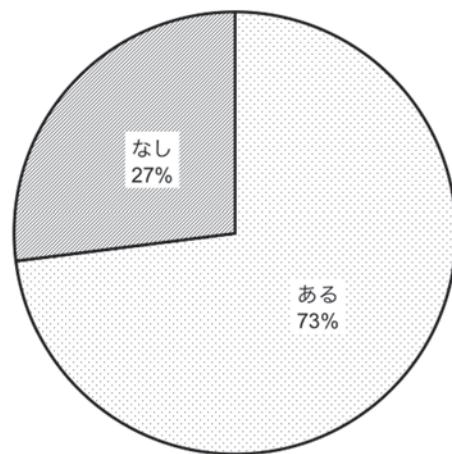
施設形態	技師総数	女性技師数	割合
病院（500床以上）	1110	241	21.7%
病院（200～499床）	429	122	28.4%
病院（199床以下）	163	38	23.3%
無記載	43	13	30.2%
合計	1745	414	23.7%

◆診療放射線技師の業務内容（122施設中 複数回答可）

平成7年	17.4%
平成19年	21.4%
平成24年	24.0%
平成26年(今回)	23.7%

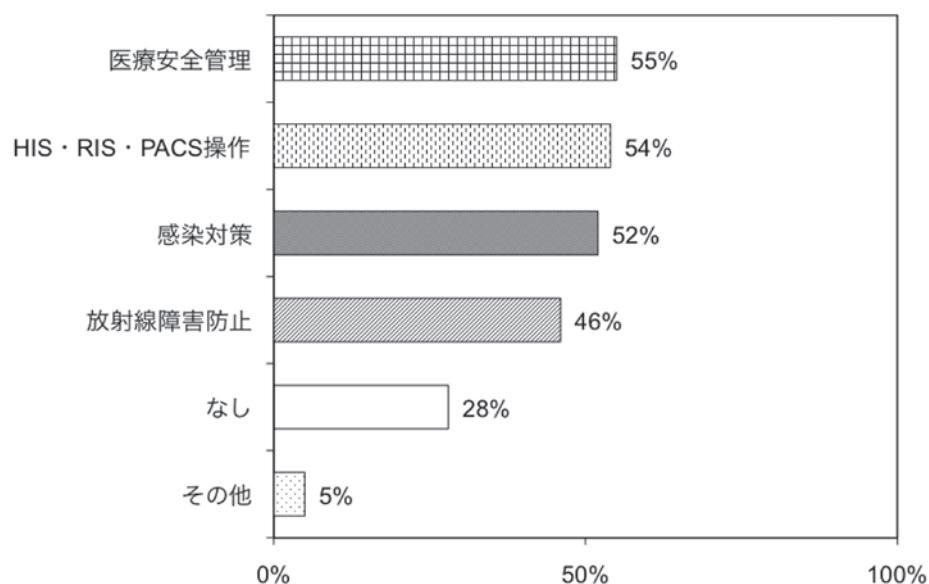
Q1 入職時に施設全体での接遇研修及びチーム医療についての研修はありますか？

入職時接遇、チーム医療の研修



Q2 放射線部門での研修はありますか？（複数回答可）

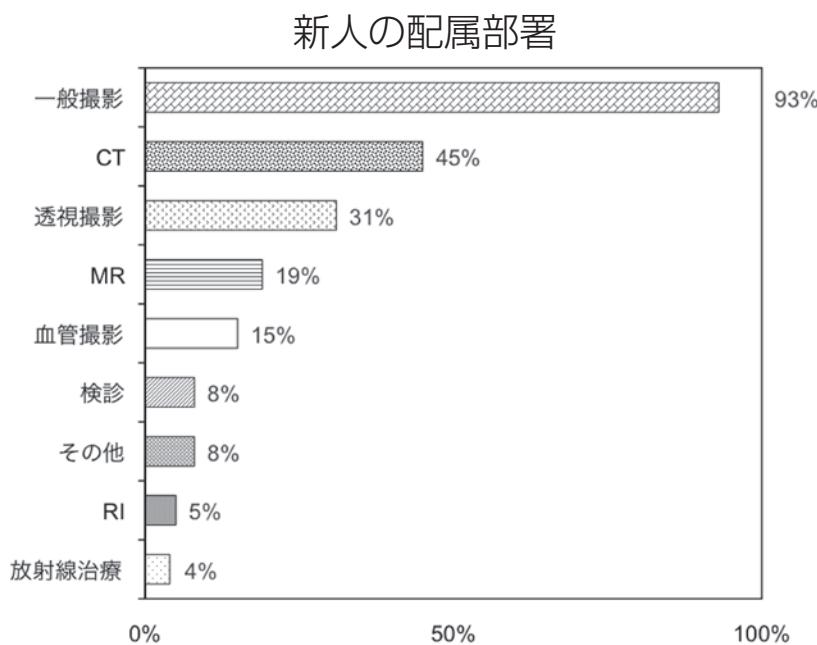
放射線部門での研修 回答数／回答施設数



その他の主な回答内容

- ・造影剤
- ・接遇
- ・治療の基本的なことを講義形式で
- ・防災
- ・MRI安全講習会

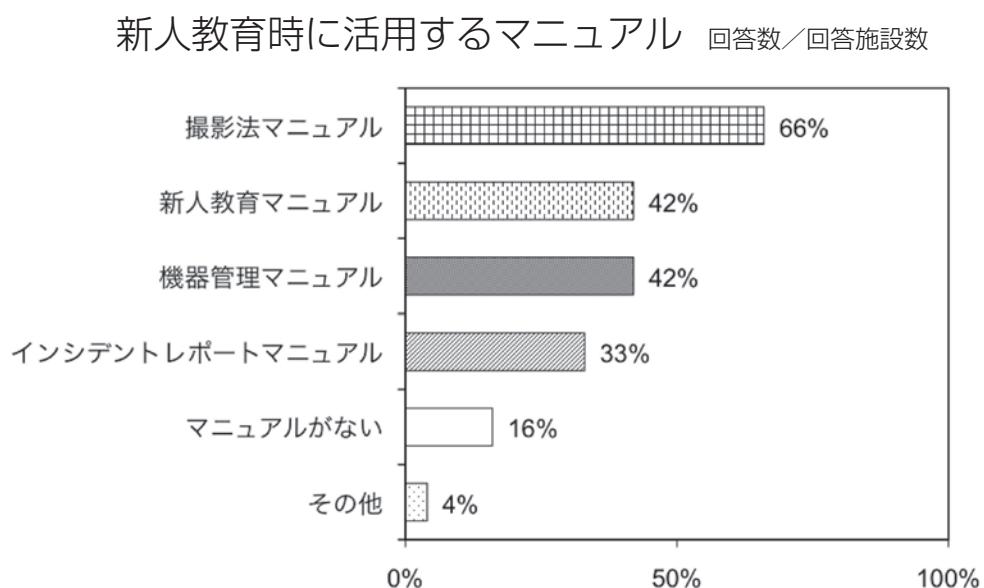
Q3 新人の配属部署はどこですか？今年度採用がない施設は例年でお願いします（複数回答可）



その他の主な回答内容

- ・新人がいない
- ・新任職員は初年度（1年間）で全ての部門を経験させる
- ・ポータブル撮影
- ・1人体制の為配属部署はありません

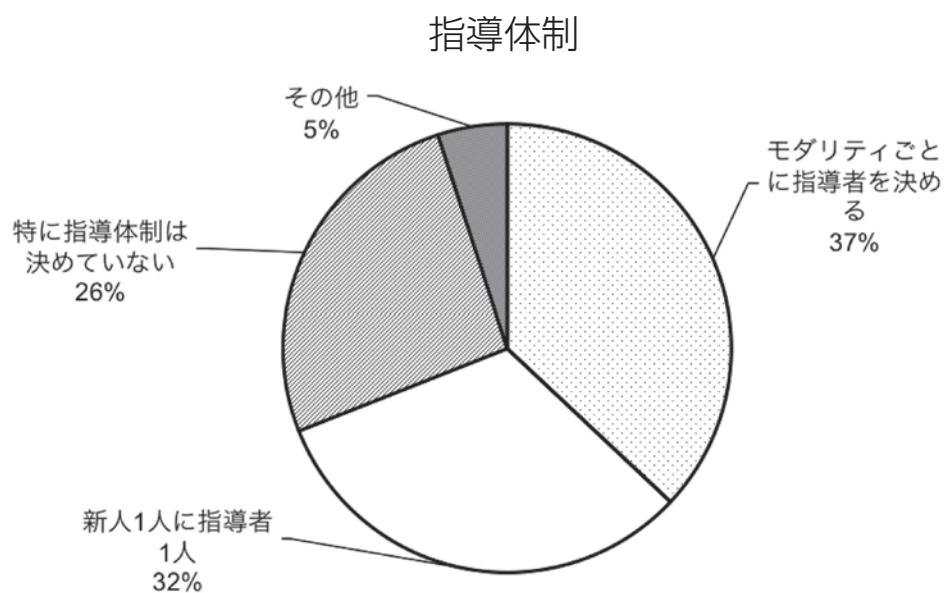
Q4 新人教育時に部署ごとでどのようなマニュアルを活用しますか？（複数回答可）



その他の主な回答内容

- ・OJTマニュアル
- ・災害時、感染防止など
- ・セーフティマネジメントマニュアル

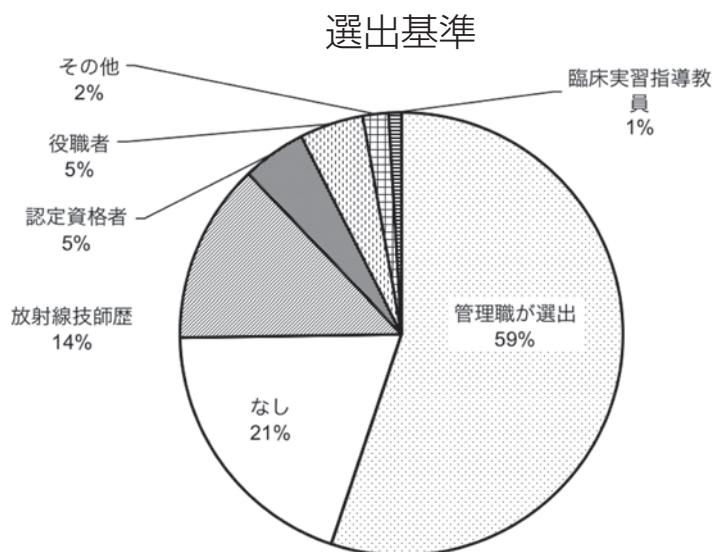
Q5 どのような指導体制をされていますか？



その他の主な回答内容

- ・指導者に対する上位者若干名
- ・全体的な教育担当を決めている
- ・私が勤務25年になるので？
- ・指導者2人の場合あり

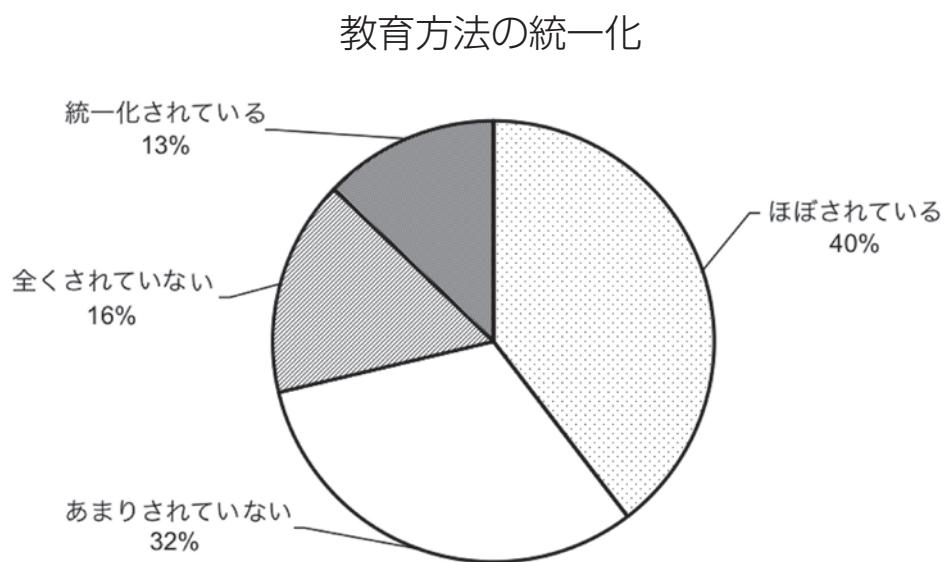
Q6 指導者の選出基準はありますか？具体的にどのようなものですか？



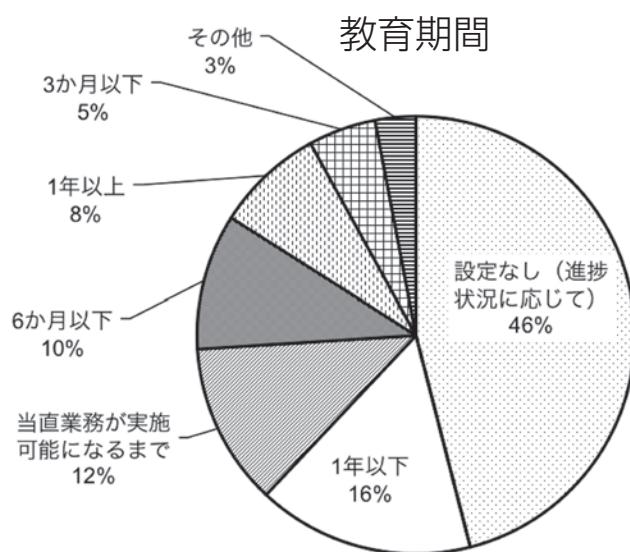
その他の主な回答内容

- ・5年目ぐらいの同性

Q7 指導者個々への教育方法は組織として統一化されていますか？



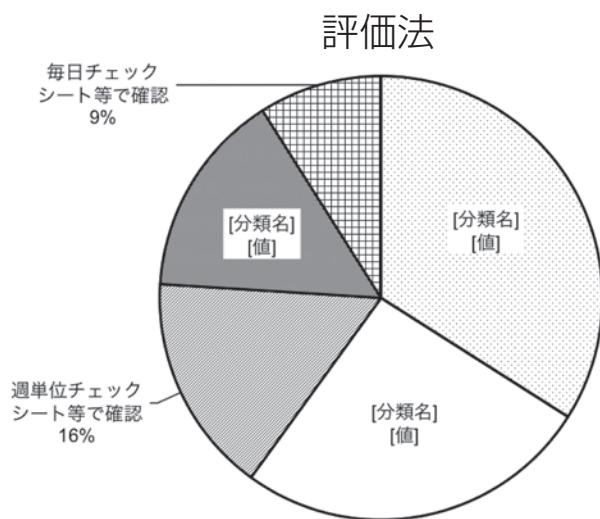
Q8 教育期間は設定されていますか？



その他の主な回答内容

- ・月単位、4半期単位チェックシート

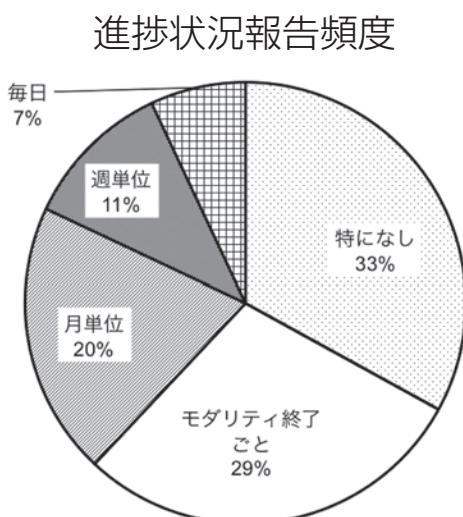
Q9 Q8での判断のためにはどのような評価法を用いていますか？



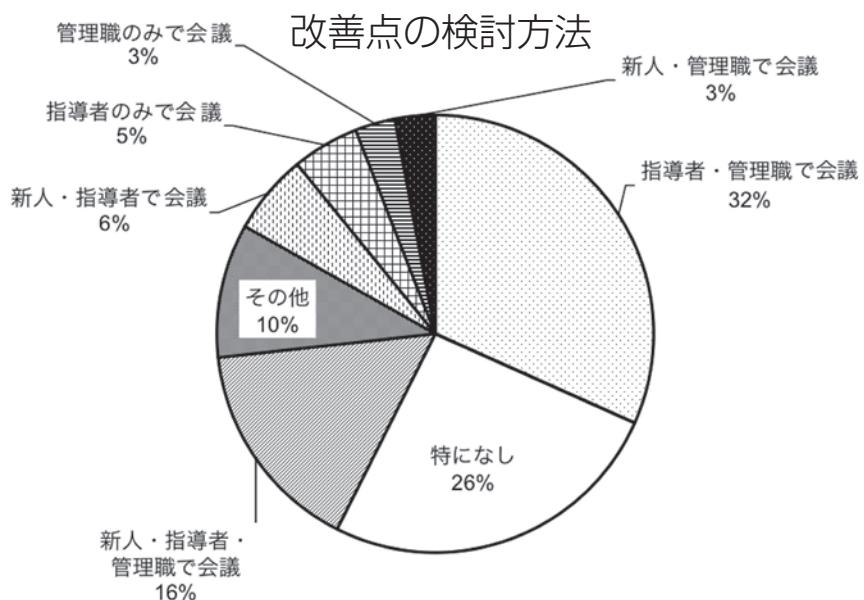
その他の主な回答内容

- ・モダリティ毎のチェックシート
- ・月単位チェックシート（OJT）
- ・3か月チェックシート
- ・半年に1度チェックシートで確認
- ・1年の最後に実技試験を行っている
- ・部内委員会にて作成した振り返りシート、チェックシート等で確認
- ・達成度チェック
- ・放射線業務委員会作成 職能レベル習熟要件を基に
- ・最終的にチェックシートで確認
- ・指導者と本人のチェックシートによる期限を設定せず確認
- ・撮影方法別チェックシートで確認
- ・自己評価表にてチェック

Q10 統括管理職（技師長）に新人の進捗状況報告はされていますか？また、その頻度はどのくらいですか？



Q11 新人教育後反省点や改善点はどのように検討されていますか？



その他の主な回答内容

- ・「新人」「指導者」「委員会」「役職」で会議
- ・主任以上のスタッフで会議を行う
- ・「新人」「指導者」で会議のち「指導者」「管理者」で会議を行う
- ・アンケート
- ・振り返りシートによって、1年間の反省を行っている
- ・全員で会議

Q12 ご意見がございましたらお書きください。

- ・技師数が少ないため、統括は技師長が行うが各モダリティ担当者に一任し、フィードバックする型式をとっています。また、撮影画像に対しては技師長みずからチェックし、指導を行っている。＊当院はローテーション制で業務を行っている為、いろいろな先輩の意見を取り入れながらのOJTとなっています。
- ・教育後の反省会は、これまで指導者のみで行われることが多かったので今後は新人・新規非常勤なども含めて会議を開くようにし、当事者からの意見・要望も積極的に取り入れていきたいです。 臨床実習指導員の有資格者を増やすなどして、指導員自身の質的なレベルアップを目指したい。
- ・現在、評価法のシートを製作しています。
- ・新規卒業者と経験者では必要なトレーニングには差がある。効率を重視するため当院にとって必要な知識スキルの中で不足していると考えられる分野から強化している。
- ・新人教育については、特にこれといったマニュアルがなかったので、他の病院のものを参考にして、作成して行った。
- ・新人採用の機会が激減し、辛いところです（アンケートには関係ありませんが）。
- ・新人の教育については、十人十色で試行錯誤です。マニュアル通りで進むことは難しく臨機応変に対応するようになります。お互いの意見交換ができるような環境が大切と考えております。
- ・精神科1人勤務という中で25年他部署との連携で患者個々に対する対応ができます。次の方を考える場合、先ず職場内で連携を保つ事のできる方を考えます。技術は習得です。
- ・当院の放射線技師は全員入職してから15年以上経過しており、入職当時から現在まで新人教育に関してマニュアルや環境整備はできていません。（看護部は研修あります）
- ・私の職場では1人勤務なので何も書けなくて申し訳ありません。今後、何かありましたらよろしくお願ひ致します。

【調査分析】

アンケート全体で入職時研修、マニュアル指導、指導体制、チェック体制が全て整っていると回答した施設は499床以下で2割ほど、500床以上では5割ほどであった。

研修、マニュアルは施設の規模に関係なく、各施設で整備されている。しかし、参考資料1,2から分かるように、指導体制、指導者の選出には大規模病院（500床以上とする）では明確な回答が多かったが、中小規模病院（499床以下とする）では、指導体制や指導者の選出が「特に決まってない」回答が半数を占め、その後の設問（参考資料3）も「特になし」や「決まっていない」との回答であった。中小規模病院では新人が入職する機会が少ないとや、少人数で業務をしていることからチェックシートなどは必要性が低いのかと推測する。

本アンケートで回答に偏りがあった設問は「新人の配属部署」（93%が一般撮影）と「指導者の選出基準」（基準ありが75%）であった。「指導者の選出基準」では「管理職が選出」が6割を占めたが、その具体的選出基準についての傾向はつかめなかった。もっと細かいデータを得られるような設問設定が課題である。

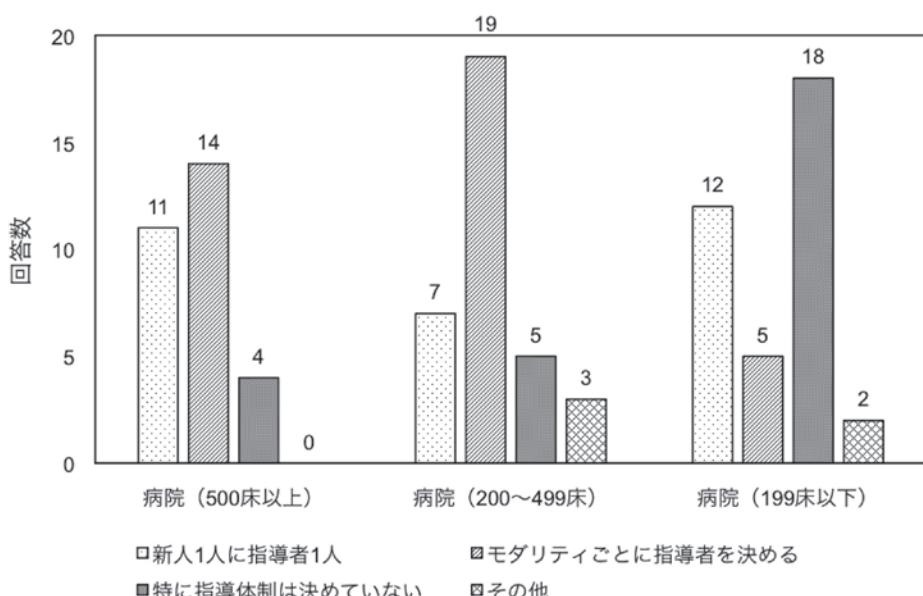
しかし、Q9、Q11では「その他」の回答でさまざまな意見、方法が回答され施設ごと多様な教育方法があることが理解できた。

ご意見にもあるように新人教育は十人十色で、その新人に合う教育方法、教育者を選択することは難しいが、施設として教育環境を整備しておくことが重要であろう。

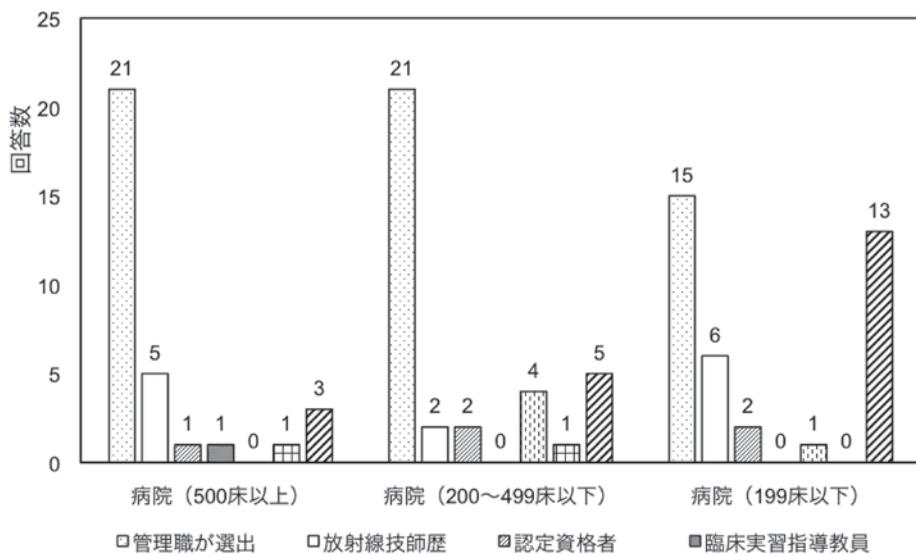
この度の調査にあたり、多くの施設のご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。

厚生調査委員 緒方達哉
以上

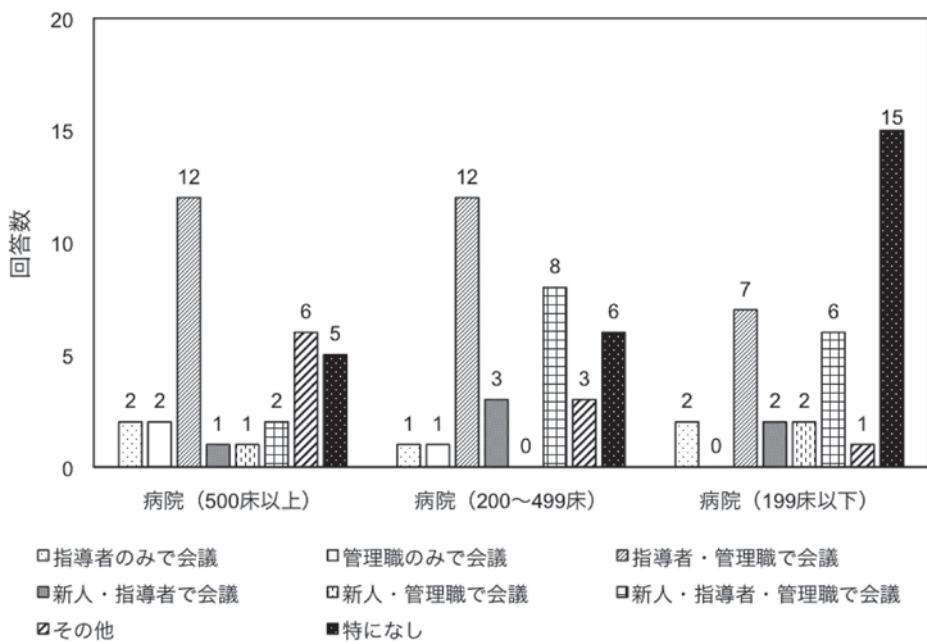
参考資料1 指導体制 [構成施設ごとの内訳]



参考資料2 選出基準 [構成施設ごとの内訳]



参考資料3 改善点の検討方法 [構成施設ごとの内訳]



Fracture ~Cross Search~

—骨折横断検索—

第9回 鎖骨遠位端骨折 ③回復（リハビリテーション）

在宅リハビリテーション草加訪問看護部 理学療法士 荒殿 太朗
足立共済病院放射線科 高橋 克行

はじめに

前回は鎖骨遠位端骨折の手術記録をもとにCraig分類、Clavicle Hook Plateについて解説した。今回は引き続き、同症例の回復へのアプローチ、すなわちリハビリテーション領域について解説する。

前回までの経緯

診断：右鎖骨遠位端骨折

Craig分類Type II b（鎖骨骨折Neer Type IIに適応）

治療：LCP Clavicle Hook PlateによるORIF施行

回復：術後翌日よりリハビリテーション開始

1. 鎖骨骨折におけるリハビリテーションの概念

鎖骨骨折に対する理学療法は、整形外科疾患の中でも比較的よく遭遇するものである。この骨折の多くは保存的に治療がなされているが、鎖骨の外側部では、骨折部が不安定になるものがあるため、しばしば手術適応となることがある。鎖骨骨折は全骨折の10～15%を占める発生頻度の高い骨折である¹⁾。その好発部位は、彎曲度が最も強く、筋肉や韌帯による防御の少ない中1/3であり、介達外力によるところが多い。外1/3では、肩鎖関節脱臼と同様に直達外力によることが多く、鳥口肩鎖韌帯と肩鎖関節が関与しているため治療上の注意が必要となる。男性が女性に比べて多く、小児の場合は不全骨折も多く認められる。また、合併症と後遺症は、鎖骨下動脈の損傷による血腫、腕神経叢の損傷による神經麻痺、胸膜損傷による血胸・気胸、過剰仮骨や変形癒合、肩鎖関節面損傷後の関節症などがあげられる。

2. 理学療法シェーマ

2-1 保存的治療法

治療としては、保存療法が原則といわれている。その理由として、保存的治療の方が一般的に骨化形成が早く、偽関節の頻度が少ないことがあげられる。また、入院を必要としないため、社会生活や学校生活を継続することができ、手術瘢痕が残らないため見た目も良い。それに対して手術療法の方が、むしろ遷延治癒・偽関節や感染など術後の合併症や術後のギブス固定による肩関節拘縮など問題が少ない。保存療法には、鎖骨バンド固定法・8字包帯法・ギブス固定法などがある。

2-1-1 鎖骨バンド固定法の利点

軽量で着脱が容易であるため、外来加療も可能なため、その適応は広い。また、疼痛の生じない範囲で徐々に肩関節運動が開始できるため、肩関節の拘縮が少なく早期社会復帰が望める²⁾。（fig.1）

2-1-2 8字包帯法の利点

一般成人には鎖骨バンドは、整復位の保持や固定力に対して不十分であり、8字包帯固定法の方が整復位の保持や固定性に優れているとする意見がある³⁾。（fig.2）

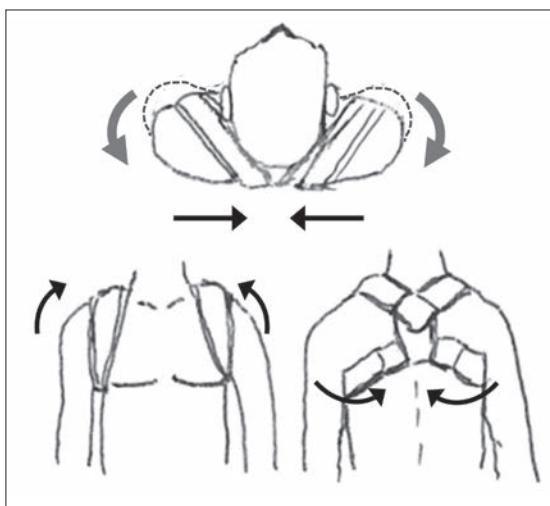


fig.1 鎖骨バンド固定

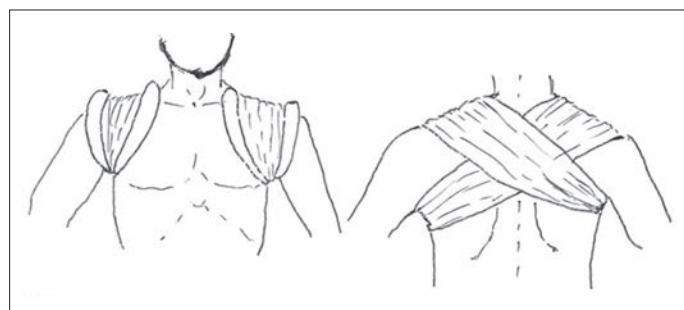


fig.2 8字包帯法

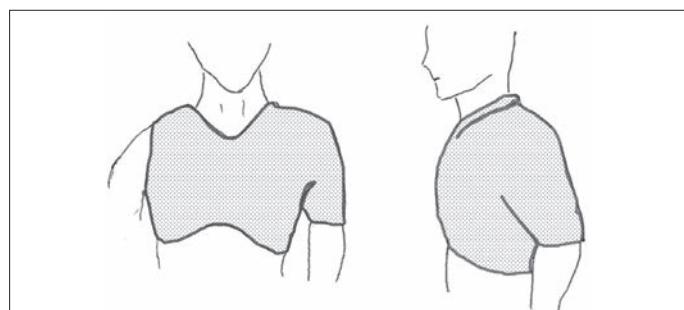


fig.3 ギプス固定

2-1-3 ギプス固定法の利点

桜井⁴⁾らは、鎖骨バンドでは整復位の保持が困難であり疼痛を訴えるのが多いので、特に成人の当初2週間は、チヨッキ型の鎖骨骨折固定用ギプス固定を実施し（fig.3）、その後、鎖骨バンド固定に変更することを推奨している。

保存療法をおこなう場合、固定期間は一般的に小児で3～4週間、成人では6週間前後である。

2-2 手術的治療法

新鮮鎖骨骨折に対して手術適応がある場合として、①神経・血管損傷を伴う場合、②開放骨折、③靭帯損傷を伴い転位が高度の不安定型などがある。

NeerのII型では、転位が高度で不安定なため、手術的療法の適応である。鳥口鎖骨靭帯断裂があれば修復を行う。術式については、前回述べられているので割愛する。

3. 基本手技

鎖骨骨折の理学療法は、患者の年齢、骨折の部位や転位の程度、整復位保持の安定度、合併症の有無、さらに、保存療法をおこなっているか、それとも手術的治療を施行しているかでそのプログラムの内容が変わる。小児例では、その旺盛な回復力により、合併症などがなければ保存的療法で問題なく治癒する。成人では、特に中高年ににおいては肩関節の可動域（range of motion：ROM）制限を残すことがあるので、これをいかに予防するかが理学療法における一つのポイントである。

3-1 保存的治療を行った場合

保存的療法を行う場合、いかに良好な整復位を得、その位置を維持するかが重要な点である。鎖骨バンドを用いる場合は、受傷直後は疼痛を避けるため強い整復操作を行わず、1週間ほどかけてバンドを調節することにより徐々に整復位をとらせる。

a. 注意事項

- ① バンドの締めすぎによる腋窩神経麻痺には注意を要する。
- ② 患肢の重量による影響を除き、整復した骨片が転位を生じないように、三角巾を使用させる。
- ③ 肩内転筋群の短縮および肩甲帶周辺筋や後頭下筋群の筋スパズム（痛みなどに起因する局所的で持続的な筋緊張の亢進状態）を引き起こさないように、正しい指導を行う。

b. プログラム (Table1)

受傷後2～3週で疼痛が軽減してくれれば、三角巾を利用したpendulum exercise (fig.4) を開始し、肩関節の拘縮予防に努める。この時期は受傷後の患肢固定のために、肩内転筋群の短縮や肩甲帯周辺筋・後頭下筋群の筋スパズムを引き起こしやすいので、myotherapyによる筋収縮や筋スパズムの除去に心がけることが重要である (fig.5)。4～5週目までは、骨折部の転位を避けるため、肩関節屈曲・外転90°以下 のROM・筋力増強運動に止める。しかし、バンドの除去が始まる6週以降では積極的なROM・筋力増強運動を開始する。

Table1 保存的治療法：理学療法プログラム

受傷後：鎖骨バンド固定・8字包帯を装着し、三角巾を使用する
2～3 W：肩甲帯周辺筋のリラクゼーション
pendulum exercise
myotherapy施行（後頭下筋群・肩甲帯周辺筋群など）
筋力増強運動：等尺抵抗運動（肩屈曲、肩すくめ運動は避ける）
4～5 W：Codman体操
筋力増強運動
6 W　　：固定器具除去
温熱療法（ホットパックなど）
passive ROM exercise
shoulder pulley exercise



fig.4 関節可動域訓練pendulum exercise

保存的療法：受傷後4～5週目までは、肩関節屈曲・外転90°以下 のROM・筋力増強運動に止める。

保術的療法：術後2～3週目は、屈曲・外転90°以上の自動・他動のROM・筋力増強運動は行わない。

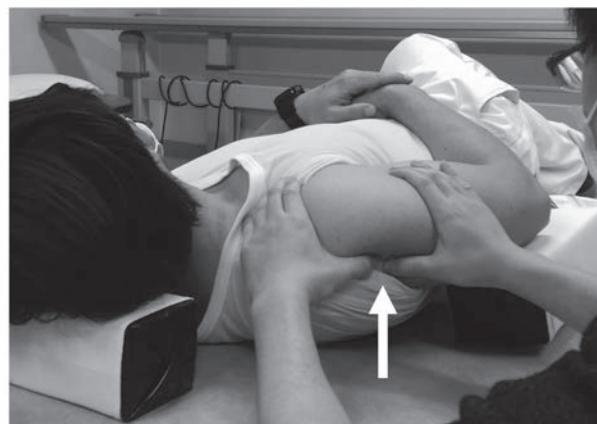


fig.5 三角筋（後部線維）myotherapy（受傷後25日目）

筋肉が過緊張をおこしている部分にマッサージを加える。

3-2 手術的治療を実施している場合

骨折の部位や靭帯損傷の有無、その手術内容や固定性の良否などを考慮しながら術後のROM・筋力増強運動を行わなければならない。

a. 注意事項

- ① 遠位骨折と近位骨折の軸回旋による骨折部のゆがみが生じることに注意。
- ② 痛みを引き起こさない程度のROM・筋力増強運動を実施すること。

b. プログラム (Table1)

術後2週間は三角巾固定を行うが、痛みがなければ、徐々にpendulum exercise (fig.4) を開始する。Kapandjiは、外転の第2相 (90～150°) と屈曲の第2相 (60～120°) で胸鎖・肩関節での回旋が、それぞれ30°ずつ関与

すると述べている。この理論に基づき、骨折部の両骨片の歪みが生じないように、術後2～3週目は、屈曲・外転90°以上の自動・他動のROM・筋力増強運動は行わない。開始する場合は、骨折部に線維性骨組織の形成が得られる4週目程度からが望ましい。しかし、回旋に対して良好な固定性が得られているならば、さらに、早期の積極的なROM・筋力増強運動も可能である。

Table2 手術的治療法：理学療法プログラム

Ope	：三角巾固定
pendulum exercise	
2～3 W	：肩甲帯周辺筋のリラクゼーション 温熱療法（ホットパックなど）
Codman体操	
	myotherapy施行（後頭下筋群・肩甲帯周辺筋群など）
	筋力増強運動：等尺抵抗運動（肩屈曲、肩すくめ運動は避ける）
4 W	：passive ROM exercise shoulder pulley exercise

まとめ

鎖骨骨折に対する理学療法を保存的治療法と手術的治療法に分けて述べた。保存的には、いかに良好な整復位を保ちながら肩関節の拘縮を防ぐかが理学療法のポイントである。手術的には折部の固定性が良ければ早期のROM運動は可能であるが、屈曲・外転90°以上の鎖骨の軸回旋には十分考慮する必要がある。また、理学療法を実行するなかで、肩甲帯周辺筋の筋スパズムや肩関節の痛みの除去についても重要な理学療法士の役割である。

参考文献

- 天児民和：肩甲帯の骨折. 神中整形外科 各論, 南山堂, p.319-323, 1990
- 長谷川繁：鎖骨骨折の悲觀血的治療. Orthopaedics. p.1-8 1992
- 今井久一：鎖骨骨折の保存的治療. 整・災外32: 1211-1215, 1989
- 桜井 修：図写真でみる骨折保存療法. 金原出版. p.84-89, 1981
- 原田禎二：図解 理学療法技術ガイド—理学療法臨床の場で必ず役立つ実践のすべて. 文光堂. P758-762.2001

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会 準備委員・職員名簿

準備委員長	石田秀樹
副委員長	野口幸作 浅沼雅康 市川重司
経理	関 真一 矢野孝好 横田 光 人見謙二
来客係	高野修彰 高坂知靖 江田哲男 安宅里美 渡辺靖志
受付係	齊藤謙一 藤田賢一 平瀬繁男 竹安直行 鈴木雄一 岡部博之 富丸佳一 鎌田 治 飯島利幸 今野重光 千葉利昭 鈴木 晋 崎浜秀幸 内山秀彦 原子 満 工藤年男
書記写真記録係	内藤哲也 岩井譜憲 森 美加 中谷 麗 平田充弘 柴山豊喜 高橋克行
会場設営係	浅沼芳明 松田紗代子
採決係	雨宮広明 岡部圭吾 河内康志 高瀬 正 長谷川雅一 吉井伸之
総会運営委員	安藤猛晴 中田健太 比内聖紀 藤村耕平 宮谷勝巳
資格審査委員	芦田哲也 池田麻依 伊佐理嘉 石川 徹 小野賢太 熊谷大樹 田川雅人 中西雄一 細川直志 渡部史也

こえ

「OTAふれあいフェスタ」に参加して

昭和大学病院 浦田尚吾

平成26年11月3日（月）の文化の日に、平和島公園で行われた「OTAふれあいフェスタ」に参加しました。このイベントは2日間で30万人を超える参加者が集まる盛大なイベントであり、大田区内の4カ所の会場（平和島ボートレース場、平和島公園、平和の森公園、大森ふるさとの浜辺公園）で行われます。

私はその中の平和島ボートレース場で行われた東京都診療放射線技師会のブースにおいて、無料健康相談の骨密度測定を担当させていただきました。健康相談では骨密度測定の結果をもとに説明を行い、訪れた方の日頃の気になる疑問や悩みの相談を受けました。私は、診療放射線技師として4月から勤務を始めたばかりで、実際に患者さんから健康に関する相談を受ける機会がほとんどないため、このフェスタに参加することに不安がありました。測定に臨むにあたりユニットのリーダーの診療放射線技師に検査の具体的な流れの説明を受け、骨密度検査を行ってきました。始まつてすぐ行列ができ、自分が担当した方々は200人ほどにも達しました。中には“毎年このOTAフェスタで骨密度を測定するのが楽しみなのですよ。”とにこやかに話しかけてくる方もおられ、場がなごむ場面もありま

した。最初は緊張していましたが、このようなやりとりを交わしているうちに緊張もほぐれ、スムーズに会話をできるようになっていきました。骨密度測定の結果が平均値を下回っていた場合においては、食事の改善や適度な運動を勧め、徐々に説明することにも慣れてアドバイスができるようになりました。特に食事については相談者の質問にしたがい、表に基づいて“魚介類・海藻類・乳製品をとることが効果的です”と説明を具体的に行いました。カルシウムの吸収を妨げる食品でスナック菓子やインスタント食品をとりすぎないようにと説明した方には“さっそく家に帰ってから、実行したいと思います。説明してくださいありがとうございました。自分の説明が少しでもお役に立てたことに、短時間ではありましたが達成感があり、大変貴重な経験となりました。

地域の方と触れ合う機会は病院の中で勤務していると、なかなか少ないと思います。今回「OTAふれあいフェスタ」に参加することで、自分にとって沢山の人とつながることができ、とても有意義な一日だったと思います。

「東京放射線」5月号のお知らせ

会誌「東京放射線」5月号は第66回定期総会の総会資料として、昨年度の事業報告をすべて掲載するため会誌発送は5月10日頃を予定しております。
会員の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集委員会

こえ

第42・43回日暮里塾ワンコインセミナー 「乳腺装置の管理」に参加して

昭和大学藤が丘病院 阿曾真弓

2015年1月24日に開催されました「日暮里塾ワンコインセミナー」に参加させていただきました。

「乳腺装置の基礎と日常点検」と「乳腺装置の精度管理」の2つのテーマで行われました。

私は乳房撮影認定技師の更新対策として受講させていただきました。基礎的な復習はもちろん、フィルム／スクリーンシステムとデジタルシステムでの管理の違いや、以前との変更点を各講師の皆さんにわかりやすく講義していただきました。特にデジタルシステムに関する日常点検項目では、実際に行っているオリジ

ナルの点検方法を教えていただきました。定期点検項目も保守管理機器が必要なためメーカーの保守点検頼りになってしまいがちですが、自分たちが使用している機器の事を自分たちで管理する重要さを学びました。

ワンコインセミナー2回分の長時間の講義ではありましたが、一日に集中して講義を受けることができ、有意義な勉強をさせていただきました。講師の皆さま、開催していただきました東京都診療放射線技師会学術教育委員会の皆さま、貴重なお時間をありがとうございました。

イエローケーキ

家族スキ

ここ10年位 ほぼ毎年、全然上手くないのだが、家族でスキー旅行に行っている。上手くないので、スキーだけが目的では行く気にはなれない。年々体力がなくなってきた私には、温泉やおいしい食事が楽しみでもある。この年になると、やはりスキーの後は、温泉に入っておいしい食事とおいしい酒を味わいたい。そして、寝る前に入る雪景色の露天風呂は最高である。

ここ数年で、もう一つの楽しみも増えた。子供達が、スキーができる年齢になってきた。下の子は、年長でやっと転ばずにボーゲンができるようになった。昨年からスクールに入れたが、体力が無く転んでばかりだった。今年は、転ばなくなりキッズゲレンデだけだが動くりフトに乗って雪の降る中、滑りを何回も楽しんでいた。上の子は、三年生で男の子で体力だけが自慢だ。昔はスクールに入れたが、最近はスクールに入りたがらず、親子で滑ったり、親が疲れても一人でリフトに乗り、初心者コースだがとても楽しそうに何回も滑っている。スクールに入るのを嫌がるので、ボーゲンから一向に上達しないのが親の悩みだが、彼はそれで良いらしい。家族四人がボーゲンで滑るのも近い未来かもしれない。

スキーだけでなく、子供のうちは、いろいろと経験させてあげたいと思っている。それは、きっと将来の財産になるだろう。そんな財産を得るために手助けをいっぱいしてあげたい。そして、子供たちの頑張っている笑顔を見るだけでリフレッシュができる、仕事の励みにもなる。父ちゃん 頑張るぞ！！

いつまで、一緒に出かけてくれるのかな…

Moniixva

こえ

「MRI集中講習会」を受講して

日本大学病院 安藤千知

今回の「MRI集中講習会」受講は、本年度のMRI認定試験を受けるためではなく、今後認定試験を受けるために試験ではどのような問題が出題され、対策を行えば良いかを知る目的で受講させていただきました。

講習会はMRIの原理・アーチファクト・安全管理・脂肪抑制など、各分野に分けてスケジュールが組まれていました。どの講義も認定試験にむけて復習となるような内容の話で、その後過去の問題を提示し回答の説明を行うという内容で進みました。

講義では曖昧に覚えていた事を再確認し復習する事ができました。脂肪抑制の講義では最新の内容なども聞け、臨床で役立つ話まで聞くことができました。

過去の問題を提示して講義をしていただけたことと、最後の“専門試験問題解説”的講義で、実際の認定試験がどのようなものか知ることができました。試験で落としてはいけない分野や、どのような参考書を用いて勉強をしたら良いのか、また実際の認定試験の傾向についても聞くことができ非常に参考になりました。

今回の講習会は今後の認定試験対策を考えるのに非常に役立つ講習会でした。もし可能であるなら、もう少し長い時間講習会を行って欲しいと感じました。今回の講習会内容を今後の認定試験の対策および、日常業務に活かしたいと思います。



第15地区研修会に参加して

昭和大学横浜市北部病院 高沢慶介

この度は、第15地区研修会「業務で出会う医療機器を理解しよう！」で、臨床に大変役立つ研修会に参加をさせていただき誠にありがとうございました。IVR検査室などのチーム医療が求められる臨床現場において、生かされる知識が習得できました。入職一年目の私にとってはとても参考になるお話しばかりでした。

研修会では、輸液ポンプの安全管理について実際の事故事例から対策まで講義があり、とても分かりやすく注意すべき点なども気をつけられるようになったと実感しております。心電図モニタについては、基礎的な内容と思っていましたが、知っているつもりでいても曖昧な知識が多いことを知らされました。わかりやす

くとてもユニークな話をしていただいたため、楽しみながら多くの知識が得られました。

実機体験では、普段時間をとて学ぶことのできない機器の役割や構造、基本操作などを機器に触れ、操作をしながら学ぶことができました。わからないことはすぐにメーカーの方に質問でき、とても有意義な体験になりました。

今後も、医療人として生かせる知識が得られるこのような研修会に参加していき、自身の知識向上につなげていきます。患者に、より良い医療が提供できるよう、チーム医療にも貢献したいと改めて感じました。



こえ

地区委員として第15地区研修会に参加して

昭和大学藤が丘病院 川崎徳太

平成27年2月10日に開催された研修会に参加いたしました。私は地区委員もしており、委員としてこの研修会の開催にあたり何度も意見を交わしテーマから決めたため、特に思い入れのあるものとなりました。

会場の帝京大学医学部附属溝口病院 研究棟は新設に伴い、非常にセキュリティーが厳重なため、会場までの案内やセキュリティーカードの回収などの不安要素もありました。しかし、研修会当日は会場や受付の準備も問題なく行え、無事に受付開始の時間を迎えることができました。

ここからの私の地区委員としての役割は、路上での案内係と会場での写真撮影、質疑でのマイク係でした。冬空のなか道案内をしていると、普段お世話になっている方々や同僚に声を掛けていただき、寒さを忘れさせてくれました。

案内の役目が終了し、会場に戻ると参加者が想像よりも多いことに驚きました。テルモ株式会社 武田先生の講演は終盤でしたが、わずかな時間でも身になる話を聞くことができました。引き続き日本光電南関東株式会社 千葉先生の講演はPC接続もスムーズに済

み、安堵のなか聴講することができました。千葉先生の講演は非常におもしろく、わかりやすい内容であり、私自身写真撮影の役割を忘れそうになってしまいました。写真撮影時に特に感じたことですが、皆さんが真剣に聴講されているのを見て、この地区研修会は成功だと密かに思いました。講演終了後の実機による操作体験も本研修会の特徴でした。多くの方に実機に触れていただき、良い企画であったと思いました。

会終了後の後片付け（特にパーテーション設置）は、全員が悪戦苦闘しました。しかし地区委員以外の方々にもご協力いただき無事終了しました。

最後になりますが、第15地区研修会が成功できたのは、帝京大学医学部附属溝口病院の皆さまをはじめ、東京都診療放射線技師会の皆さまのご協力の賜物です。深く感謝申し上げます。今後とも、地区委員として原子委員長を中心に第15地区の活性化に少しでも貢献できるように取り組んで参りたいと思います。このような貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



第5地区研修会に参加して

東京健生病院 鈴木正晴

平成27年2月12日（木）に東京大学医学部附属病院にて「平成26年度第5地区研修会」が開催されました。理学療法士の天尾理恵氏を講師として迎え「無理なく安全に行える起居動作介助方法のポイント」をテーマにご講演していただきました。

講義内容は“力のモーメント”の基本的なお話をから始まり、どの位置で負荷が掛かると一番楽なのかを学びました。また座学だけではなく、効率的な移動の方法を実演していただき、参加者全員が患者役と術者役に分かれて実際に体験してみるなど、今までの学習会にない貴重な体験となりました。

業務をしていると、日常的にトランスファーが必要な場面が多くあります。入職したばかりの頃は基礎技術研修の一環としてトランスファーの講習もあったのですが、今になってみると、あらためてここはどうしたら効率良く移動できるのだろうと疑問に感じる部分もありました。そういうたった疑問をここで解消することができ、漠然と行なっていたことにも確信が持てました。

介助を行なう際に大事なことは、

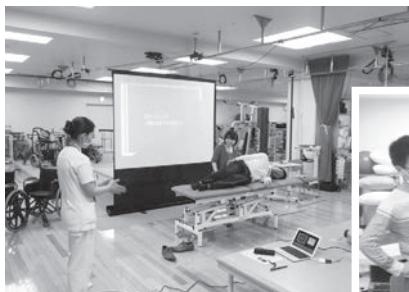
1. 患者の状態について情報収集ができるか

2. 安全、楽に動作を行うポイントをつかんでいるか
3. 声掛けしてタイミングを合わせているか
4. 環境調整、意思統一ができているか

の4つだそうです。このうちの一つが欠けていると、その分患者もしくは自分たちに負担が掛かるわけです。お互いの身体を守るために、正しい理解が必要なのだと感じました。患者の体と自分のお臍が離れないように、そういった近い距離を意識して安全に楽にトランスファーを行ない、患者からの信頼という意味でも近い距離を保てるようにしたいと思います。

また、当院では昨年からスライディングシートを導入いたしました。これによって非常にスムーズにベッドから検査台への移動が行なえるようになりました。このような患者移動の補助具にも目を向けながら、検査全体としての質が上がるよう努めています。

今回は研修会の開催にあたり、お忙しい中、有意義なお話をしていただいた講師の天尾理恵氏に感謝いたします。ありがとうございました。また、研修会を企画・運営していただいた第5地区委員の皆さん、このような機会をいただき誠にありがとうございました。



第54回きめこまかな生涯教育に参加して

(公財) 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 鳥井志真子

平成27年2月21日に開催された第54回きめこまかな生涯学習「乳腺超音波」に参加させていただきました。普段の業務では携わることのない乳腺超音波・乳腺MRですが、マンモグラフィに従事する診療放射線技師として、他の視点から乳腺病変を見ることは貴重な経験であると思い受講いたしました。

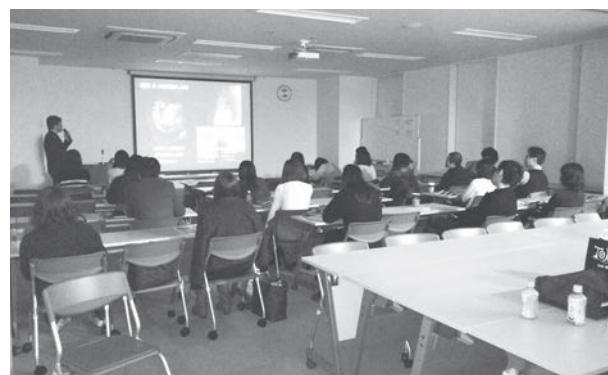
講義は大きく「超音波の原理」「乳腺超音波の基礎」「マンモグラフィ・MR画像との対比」と分かれており、超音波の原理から乳腺超音波の基礎と順に学習することで、段階を踏んで少しずつ理解することができました。例えば、後方エコーを見ることで腫瘍の内部の構造を推定でき、乳腺超音波の正常像と比べることでより悪性の形態と判断できるなど、分かりやすい説明に加えて多くの画像や図を提示していただきました。そのため、初めての超音波の講義でしたが、興味を持ちながら理解を深めていくことができたのだと思います。

また、典型的な病変画像も多く見ることができ、病

変の悪性度を判断する要素のひとつひとつを理解しながら聴講できました。普段は静止画でしか超音波画像を見ることができないため、動画を多く提示していただきことで、また静止画とは違った印象を受けました。病変の形態や悪性度、浸潤の様子といった病変の見え方ももちろんですが、超音波の操作によって見え方も変わってくるのだと感じ、悪性度・広がり診断にも影響する画像の1枚をつくるのは技師の技術力なのだと改めて痛感致しました。

今回、マンモグラフィと超音波、そしてMRの画像を対比して見ることで、普段見ているマンモグラフィとはまた違った広い視野から病変について考えることができました。さまざまなモダリティの知識を深めていくことで、今後のマンモグラフィの見え方も変わってくるのだと思います。

乳腺超音波に興味を持つ大きなきっかけとなりました。講師の皆さん、本当にありがとうございました。



NEWS ひろい読み

放射線医学総合研 重粒子医科学センター がん切らずに治療 世界へ

放射線の一種である重粒子線を使って、がんを切らずに治す治療が脚光を浴びている。世界で初めて重粒子線治療を始めた放射線医学総合研究所の拠点が重粒子医科学センターだ。これまでに9,000例を超える治療実績を積み上げてきた。米国の大学病院と連携し、重粒子線治療を世界に普及させる足がかりにしようとしている。

「単に治療が目的ではない。がんをよりよく治すことが使命だ」と鎌田正センター長は話す。重粒子線は従来の放射線治療に使うエックス線やガンマ線といった電磁波とは違い、炭素の原子核など重い質量の粒子による放射線だ。細胞を死滅させる力は2~3倍高いという。

放医研の地下には、直径42メートル、周りの長さが130メートルの巨大な加速器がある。面積はサッカー場ほどの広さになる。メタンガスに電子ビームを当てて取り出した炭素の原子核を光の速さの8割程度にまで加速させる。

従来の放射線治療はがん細胞のDNAを切断して細胞分裂を止める。体の表面近くで大量のエネルギーが放出され、体の奥に進むにつれて弱まる。がんをたたこうと強く照射すればするほど、周囲の正常な細胞も傷つけ、副作用が懸念される。

これに対し、重粒子線は重いうえに電気を帯びているため、体内の水分子などと衝突しながら進むうちに、ある場所で止まって一気にエネルギーを放出する。このため、病巣に焦点を合わせれば、がん細胞だけにより大きなダメージを与えられる。辻比呂志プログラミリーダーは「従来のエックス線を使った放射線治療が難しいタイプのがんも治せる可能性がある」と自信をのぞかせる。

重粒子線は基本的にどんな種類のがんの治療にも使えるが、これまで呼吸であまり動かない前立腺や頭頸部に限られていた。肺や脾臓、肝臓などは呼吸に合わせて位置が1~2センチメートル動いてしまうからだ。そこで、動く患部を狙い撃ちする技術の開発を進めた。

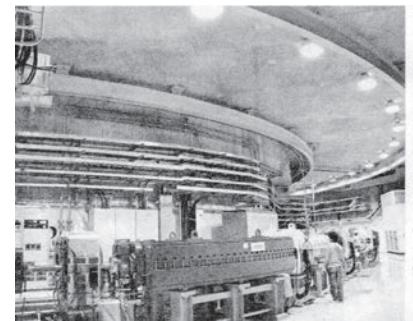
呼吸の周期の中で1秒ほど、ほとんど動かない瞬間がある。あらかじめコンピューター断層撮影装置（CT）で患者の臓器を撮影し、臓器の動きが止まる1秒間に8回照射する技術を開発した。白井敏之プログラミリーダーは「正常な組織への影響を最小に抑えられる」と話す。

重粒子線治療は加速した炭素の原子核を強力な電磁石を使って方向を曲げる。限られた方向からしか照射できず、患者の位置を動かして対応していた。

こうした問題を解決するため、重粒子線を様々な方向から照射できる施設の建設を進める。直径11メートル、長さ13メートルの円筒形の部屋を超電導磁石で囲み、加速した重粒子線を360度どの方向からも取り出せるようにする。2015年3月から据え付け工事を始め、16年春の稼働を目指す。

これまでに蓄積した治療技術を海外に広めることにも積極的に取り組む。1月には、米国のテキサス大学サウスウェスタン校やカリフォルニア大学サンフランシスコ校と、米国での臨床応用を視野に提携した。米国で優れた病院として知られるメイヨークリニックとも協力する計画だ。

まず、15年にも米国の患者を日本に受け入れ、放医研で治療する。2~3年かけて安全性や効果を確かめ、米国での治療を目指す。鎌田センター長は「世界でも治療実績を積み上げ、重粒子線照射をがん治療の世界標準に育てたい」と話す。（八木悠介）（2.25日経産）



放医研の地下に眠る巨大な加速装置で
重粒子を光速の8割程度まで加速する

がん治療 患者に優しい機器/医療研究機構 実用化を検討

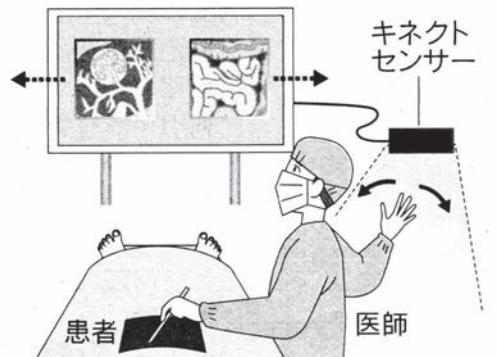
医療分野の研究開発の司令塔として4月に発足する独立行政法人日本医療研究開発機構が、政府の成長戦略に基づき、がん患者の負担を抑える医療機器の実用化を優先的に目指すことが13日、分かった。2人に1人ががんになる一方、早期発見や適切な治療で治るがんも増えており、患者が日常生活にスムーズに戻るための支援を研究の目標に据えた。具体的には、がんの範囲を高性能で特定する機器の実用化を検討する。近赤外線と呼ばれる特殊な光の発光装置とカメラを使い、臓器の中のがんの範囲を画面で明確に確認できるようにする。これにより、切除範囲を最小限に抑えたり、手術時間を短縮したりするなど手術の質向上をはかり、患者の負担も大幅に軽減させる。プラズマという電気放電現象を使った、止血装置の開発もテーマとする。血管を焼いて止血する従来の方法では、接合部に炎症が起き、身体のダメージも大きかった。血管をつぶさずに血を止めることで、この点も改善される。また、放射線をピンポイントで患部に照射する装置も研究を進める。狙った場所に放射線を集中させる粒子線治療はすでに全国で行われているが、その効果を科学的に実証し、蓄積したデータをもとに新時代の治療水準を考える。がん治療に関する研究は、これまで厚生労働省、文部科学省、経済産業省が独立して進めてきたが、来年度からは日本医療研究開発機構に、がん分野をまとめて管理する専門家が配置され、研究開発が効率的に進むようになる。厚労省研究班の推計では、がん患者の退職や治療に伴う休職による経済損失は年に最大1.8兆円に上る。患者の社会復帰を早めることで、経済効果も期待できそうだ。(1.13読売)



手の振りで医療画像操作

東京女子医科大学先端生命医科学研究所の吉光喜太郎特任助教らの研究チームは、手術中の執刀医が、マウスなどに触れずに手ぶりだけで画像切り替えや拡大ができるシステムを世界展開する。昨年12月、ロシアの連邦脳神経外科センター（ノボシビルスク）にシステムを導入。今後1~2年内をメドに現地販売会社とライセンス契約を結び、本格販売する。中国や欧米への展開も目指す。吉光特任助教らが開発した術中画像操作システム「OPECT」は、米マイクロソフトが家庭用ゲーム機Xbox向けに開発した動作センター「キネクト」を活用。医師の手の動きを3次元（3D）で読み取り、コンピューター断層撮影装置（CT）で撮影した医療用画像などを操作する。手術中、医師は滅菌手袋をはめており、マウスなどを操作できない。従来は助手に指示して操作させていたが、「思うように表示できずストレスになっていた」（吉光特任助教）という。日本ではニチイ学館を通じて2012年に発売。福島県立医科大学などに導入例があり、脳や肺など手術中にさまざまな画像を確認する分野で使われている。海外でも同様のニーズがあるとみて国際展開を目指す。ロシアのほか、中国や台湾の医療関連企業ともすでに接触を始めている。米国や欧州でも2~3年後の発売を目指す。」（新田裕一）（1.14日経産）

オペクトを使うと手の動きに応じて画像を切り替えられる



がん検査 コスト100円/日立と九大、18年にも

日立製作所はがんを低成本で発見できる検査技術を九州大学とともに実用化する。体長1ミリメートルの線虫ががん患者の尿に反応する習性を応用し、1回100円程度のコストで初期のがんを見つける装置を2018年にも発売する。がんの種類は分からず、体内のどこにあるかはX線などを使う従来型の検査で判定する。低成本検査で初期段階から治療すれば医療費の抑制につながる。日立は九州大の広津崇亮助教らと装置を共同開発する。線虫はがん患者の尿の臭いに寄りつくため、約100匹の線虫の動きを精密に画像解析して判定する。患者と健康な人を合わせて300人強で実施した実験では9割以上の高い精度で、がんの有無を確認できた。1回の診断時間は1時間程度で、画像解析には日立のビッグデータ分析技術を生かす。線虫は世界各地で土の中などで簡単に採れ、殖やすのも容易だ。100匹でも費用は数円で済む。東ソーはがんの転移や再発の可能性を血液から見つける検査装置を、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）などと5年後をめどに実用化する。(2.13日経)

医療被曝 自動で収集/放医研 指標策定で低減へ

放射線医学総合研究所はコンピューター断層撮影装置（CT）による医療被曝の情報を自動でデータベースに集める技術を開発した。東北大学病院や大阪警察病院など5施設と協力し、データを収集する試験を始めており、医療被曝の低減につながる指標の策定に役立てる。開発したソフトウェアはCTなどに接続すると、検査ごとに装置の出す線量などの情報を集めて、放医研のデータベースに送る仕組みだ。現在は5施設と協力しているが、2015年度以降には約20施設にまで増やし、調査期間の延長も視野に入る。15年度末には30万件近いデータが集まる見込みだ。医療被曝は装置や病院の利用状況などによって線量が大きく異なる。同じ目的の撮影でも10倍以上の差が生じることもあるという。（2.13日経産）

紅茶の苦みで骨強化/骨粗しょう症 予防薬に道

紅茶に含まれる苦み成分に、骨が壊れるのを抑える働きがあることをマウスの実験で確認したと、大阪大学などの研究チームが発表した。「骨粗しょう症の予防薬開発につなげたい」としている。論文が、24日の科学誌ネイチャーメディシン電子版に掲載された。骨には、カルシウムでできた硬い組織を作る「骨芽細胞」と古くなった組織を壊す「破骨細胞」があり、バランスを取って骨の強度を保っている。年を取ってバランスが崩れると、骨粗しょう症が起きる。大阪大の石井優教授と西川恵三助教らが、破骨細胞が過剰になった骨粗しょう症のマウスに、紅茶の苦みや赤い色の成分に含まれる物質（ポリフェノール）を3日に1回ずつ注射したところ、3週間後には破骨細胞が減り、骨の強度もほぼ正常になった。ただ、1回分の投与量を体重60キロの人がまかなうには、紅茶を一度に60杯飲む必要があり、ふつうに飲んでも改善は見込めそうもないという。西川助教は「ポリフェノールをもとに薬やサプリメントを開発すれば、骨粗しょう症予防に効果が見込める」と話している。（2.24読売）

イエローケーキ

流れ星

皆さん、最近夜空を見上げていますか？

私は北海道の田舎で生まれ、就職で東京に出てくるまでずっとそこで育ちました。周りには高い建物も無く、見渡す限り玉ねぎ畑や乳牛飼育用の牧草地ばかりでした。そのため、視界を遮るものは何も無く、全天の空を眺めることができました。家の手伝いで夜まで畠仕事をしているときや、部活動で遅くなったりしたときの学校からの帰り道などよく夜空を見上げていたためか、自然と星に興味を持つようになりました。しかし、東京に来てからは周りに高い建物が多く視界も限られるようになっていたり、夜でも照明やネオンなどで明るかったり、さらには仕事に追われるようになり…、だんだんと夜空を見上げることも少なくなっていました。少し寂しく思っていました。

昨年12月のとある寒い日に当直のため病院で待機していたのですが、TVで双子座流星群のニュースを聞き、少しワクワクするのを感じました。ちょっと休憩で病院の外にある喫煙所に行き、タバコを吸いながら夜空を見上げていました。その日は雲も無く絶好の観測日よりでしたが、現実は厳しいもので、なかなか流れ星を見ることはできませんでした。深夜2時過ぎに何度も休憩で外に出て、首に少し痛みを感じながらも夜空を見上げ続いていると、大きく綺麗に輝いた流れ星がゆっくりスッと流れていくのを見ることができました。さすがに願い事を3回唱えることはできませんでしたが、この高いビルが建ち並び、視界も狭い都心の真ん中で流れ星を見ることができたことにとても感動しました。そして幼い日によく夜空を見上げていたことを懐かしく思い出し、嬉しくなりました。

皆さん、たまには夜空を見上げるのも良いものですよ。

(P N Startear)



超音波画像研究会 定例会・講習会

<http://us-image.kenkyuukai.jp/>

「エコーの寺子屋」開講のお知らせ

本研究会主催により、以下の概要にて腹部エコーに特化した寺子屋を開講いたします。受講により腹部エコー検査と病態、所見などを深く理解することで実践に近づくことが期待できると考えております。是非、検討くださるよう周知方々ご案内申し上げます。

期 間：平成27年5月8日から同年8月26日の間

講義：15回（水または金曜18:30～20:50） 実習：3回（土曜日 13:00～17:30）

会 場：講義：中央医療学園専門学校（荒川区）

実習：中央医療技術専門学校（葛飾区）

募集対象：診療放射線技師、臨床検査技師、看護師、医師の資格を有する者

募集期限：平成27年4月20日（月） 募集定員15名

詳細、申込方法につきましてはホームページ（<http://us-image.kenkyuukai.jp/>）をご参照願います。

問合せ先：中央医療技術専門学校 菅 和雄、今尾 仁 あて

TEL 03-3691-1879（16時30分～18時00分）

超音波画像研究会 事務局 E-mail us.image.workshop@gmail.com

第239回定例会

日 時：平成27年4月22日（水）19時00分（受付18時30分）

会 場：中央医療技術専門学校（東京都葛飾区立石3-5-12）

講 師：超音波画像研究会 桐山 昌孝（セコメディック病院）

テーマ：「目を鍛えよう！～Sweets症例パート2～」

参加費：会員500円/準会員・非会員1,000円/新入会3,000円（入会金含む）/学生無料

動画から気が付かないと何も始まらないのがエコー検査ということで、開催するシリーズの第二弾。日常の検査で目にする機会の多い絶対に知っておきたい症例を供覧し、目を鍛えましょう！

News

4月号

前回連絡会議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：20名、欠席：0名

会長挨拶

皆さまお集まりいただきありがとうございます。本日は天候を心配しておりましたが、雪も積もらず良かったです。

この期間から3月までは、年度末のいろいろな締めを皆さんにお願いすることになります。また、新年度の準備を着々と進めていただきたいと思います。今年は、通常の年の締めの作業と違い、3月17日に公益社団法人となって、最初の東京都による立ち入り検査が予定されています。それに向けて、準備を着々と進めていただくということで、皆さまのご協力を宜しくお願いします。

報告事項

1) 会長

・1月30、31日に日本放射線技師連盟に出席しております。臨床工学技士会の会長と臨床工学技士会の技師連盟の方と今後の提携などについて話し合いました。31日の連盟の理事会では、役員改選がありまして、これまで連盟理事長の兵庫県会長の播磨さんが監事になり新理事長は中澤日放技会長になりました。副理事長に私（篠原）と佐野副会長と畦元理事がなっております。中澤理事長のもと3名の副理事長で行い、私（篠原）が会計を担当することになりました。

・その他、活動報告書に追加なし

2) 専門部委員会報告

総務委員会

・新春のつどいについて参加のほど皆さまありがとうございます。例年と同数近い176名に参加いただいています。

厚生調査部委員会

・アンケート調査にご協力いただきありがとうございます

日 時：平成27年2月5日(木)

午後6時45分～午後8時00分

場 所：公益社団法人東京診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、石田秀樹、
関 真一、野口幸作、浅沼雅康、市川重司、
江田哲男、高坂知靖、高野修彰、安宅里美、
藤田賢一、平瀬繁男、竹安直行、岡部博之、
飯島利幸、千葉利昭、鈴木晋、工藤年男

出席監事：乙井不二夫

指名出席者：鈴木雄一（第5地区委員長）富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田修（第8地区委員長）、今野重光（第10地区委員長）、佐々木武弘（第15地区委員長代理）、渡辺靖志（災害対策委員長）、長谷川雅一（総務委員）、河内康志（総務委員）、雨宮広明（総務委員）

欠席理事：

議 長：篠原健一（会長）

司 会：葛西一隆（副会長）

議事録作成：雨宮広明

た。現在、集計中で4月の会誌に掲載する予定でいます。

・活動報告書に追加なし。

3) 特別委員会報告

定款諸規定委員会

・12月理事会で承認いただいた諸規定を委員会にて見直しを行い終了しました。編集理事に印刷を依頼しましたので、刷り上がり次第役員に配布する予定です。年度内には刷り上がります。

・活動報告書に追加なし。

4) 地区活動報告

第9地区

・第8地区紹介記事について→削除

第12地区

・城南支部研修会→多摩支部研修会に訂正

その他、活動報告書に追加なし

議 事

1) 平成27年度事業計画総括（案）

運営委員会に事前資料を配布し、各委員に広く意見を求めた。

会長が補足説明し、意見、質問を求めるが特になかったので採決を説明した。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

2) 事業計画申請の件

①第44回日暮里塾ワンコインセミナー（3/11変更 三鷹産業プラザ）

平成27年3月11日（水）三鷹産業プラザ開催について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

市川理事：平成27年度の学術教育委員会の活動についての

試みではありますが、各地区に学術教育委員会出向き「学術が行く入会促進」ということで、各地区にてワンコインセミナーを開催させていただければと考えています。2ヶ月に1回のペースで、年間6回を予定したいと思います。内容についてはさまざまなものを取り上げる予定です。参加費は会員・非会員ともに500円で実施し、

冒頭に東京都診療放射線技師会の紹介などを行わせていただく予定です。皆さまのご理解、ご協力お願いします。
篠原会長：学術が向いての入会促進という1つの目的として、もちろん皆さまの知識・啓発の活動ではありますが、その地区で開催した際は、非会員の方を積極的に誘って参加していただければと思います。

②第8地区研修会（3/20 東芝病院）

平成27年3月20日（金）東芝病院開催について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

3) 新入会に関する件

・1月度 新入会7名、転入4名、転出1名、退会6名

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

・平成26年度会費免除申請1件

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

・平成27年度 会費減額処置3件

野口庶務委員長が補足説明し、意見、質問を求めたが特になかったので採決を諦った。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

4) その他

・第3地区の新地区委員について審議した。

運営委員会に事前資料を配布し、各委員に広く意見を求めた。

（新地区委員に東京女子医科大学病院の曾根辰徳氏に依頼）

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

地区質問、意見に関する事項

1) 【第6地区】

・技師法改正に伴う日本診療放射線技師会が予定している講習会について、現在、わかっている範囲で教えてください。技師会としては静脈注射抜針・注腸カテーテル・治療等などの講習をまとめて受講する形式の講習会を行なうことですが、単発の受講はできないのでしょうか。また、全てを受講しないと修了証書は発行していくだけないのでしょうか。

篠原会長：日本診療放射線技師会の事業ですが、日放技の理事でもありますので、分かる範囲で説明させていただきます。以前にもお話ししたかもしれません、来年度から注腸、抜針・止血、IGRTの一部、それから救命処置などの業務範囲の拡大におけるすべてを網羅した統一的な講習会を計画しているとのことですが、具体的にいつ行うかなどは決まってないようです。現在の段階では、注腸などの講習の講師を養成しようということで、2月28日、3月1日の2日間に各都道府県より2名ずつ選出いただき、講師を務められる方の養成講座を行うことが決まっています。東京都からは2名、野口理事と市川理事にお願いしています。今の段階では、一度に行なうことは難しいので、まずは、本年度までに静脈注射抜針の講習会を受けた方が優先的に統一講習会を受けられるように行なう予定です。静脈注射抜針は受講済みですので、時間的にも金銭的にも配慮されます。来年度も、静脈注射抜針の講習会と同数の開催を予定しています。ただし、その年の静脈注射抜針を受けた人しか受けられないわけ

ではありません。優先的に行なうだけで、会場で枠が余っていた際は受講が可能です。募集の仕方については、まだ決まってないそうです。

岡部委員長：まとめて、修了証が発行されるのでしょうか。

篠原会長：そうですね。その修了証の発行者についても、日本診療放射線技師会会长名なのか厚生労働省の管轄になるのか検討するようです。診療放射線技師に関しては、厚生労働省は法律が変わって、4月1日から基本的に行なってよいのですが、検査技師の場合は、検体採取などについて受講した方のみ行為が認められています。日本診療放射線技師会の考え方は、義務ではないが努力義務ということで、公益社団法人として国民の安全を考慮する上で講習会を積極的に進めていくということです。

岡部委員長：今後について、例えば注腸だけとか行わないのでしょうか。

篠原会長：来年度からは単発では行わず、統一した講習会として進めていくとしています。具体的にお話できればよいのですが、現段階では、このぐらいのことしか分かりません。また、日本診療放射線技師会から正式に通達があるものと思います。来年度の講習会について、講習をすでに受けた方が、金額と受講時間が減免されるなどの処置があるのは間違いないので、安心して受講して下さい。

岡部委員長：金額は高めに設定しているのでしょうか。

篠原会長：南関東地域の資料ですが、受講料は会員が1万5千円、非会員が6万円となっています。受講免除の取り扱いは、静脈注射受講済みの方は1万3千円、注腸受講済みの方は6千円、静脈注射と注腸の両方受講済みの方は3千円となっています。静脈注射受講済みの非会員は5万円、注腸受講済みの非会員の方は3万5千円、静脈注射と注腸の両方受講済みの非会員の方は1万5千円ということです。

・小野賞について推薦したい方がいるのですが、技師歴の活動の過去について明確には分からぬのですが、活動の経験について調べていただくことはできるのでしょうか。それとも地区で調べるものでしょうか。

篠原会長：地区委員の経験までは把握していませんので、地区で把握して下さい。

岡部委員長：地区委員を長く行なっていることは把握しているのですが、何年の何月からまで分からぬのですが。

野口理事：小野賞の規定が5年以上になりますので、5年以上あればよいのです。

岡部委員長：厳密に細かく記載しなくてもよろしいでしょうか。

篠原会長：都庁に申請する叙勲とは違いますので、経験をごまかして受賞する方もいないと思います。地区の方で推薦について判断して下さい。

連絡事項

1) 総務委員会

・支部長にはお願いしてありますが、総会の実行委員の推薦をお願いします。小野賞と同じく専門部理事会前の2

月25日までに各支部で資格審査委員2名、総会運営委員1名について推薦お願いします。

- ・事業報告について事業報告のフォーマットを皆さまにお配りしたので、中間監査の報告書に付け加えると期末監査の報告書となりますので、付け加えて送り返すようお願いします。参加人数の記載に変更があり、新たに配布した事業申請報告書に項目として新入会員などの欄があります。参加人数について総会資料にスムーズに載せることができるように、新しい形式で参加人数の報告をお願いします。報告書は、3月31日までになりますが、事業が終了したところから隨時報告のほど、よろしくお願ひします。
- ・平成27年2月22日（日）に、平成26年度原子力災害「福島県外における住民の個人被ばく線量把握事業シンポジウム」がAP八重洲にて13時から17時で行われます。日本診療放射線技師会から東京都から15名の参加要請がありましたので、参加できる方は石田総務委員長まで連絡をお願いします。

篠原会長：皆さんご存じのとおり、日本診療放射線技師会が3億数千万円で請け負った環境省の委託事業で、各地区、東関東地域から岩手までの診療放射線技師の方たちや家族の方達が時間ごとと日にちごとの線量について測定器を持ってもらい測定した取り纏めの中間報告の報告会です。日本診療放射線技師会としては、請け負った事業ですので是非参加の程お願いします。

2) 涉外委員会

- ・小野賞の候補者の推薦について、作業の都合上、今月の専門部の理事会までに締め切りを変更させていただきたいと思いますので、ご協力をお願いします。
- ・推薦者の経緯などについては、地区の方で確認していただき対応をお願いします。
- ・表彰規程の推薦条件が昨年まで4年であったところ、5年に変更されていますので注意して下さい。

3) 広報委員会

- ・ピンクリボンウォークについて、例年3月の末ですが、今年は4月の1週目の日曜日になる予定です。また、エントリーでき次第、事業申請いたしますのでよろしくお願いします。

4) 庶務委員会・経理委員会

- ・会費未納者についてのリストを配布しています。本来は2年で退会ですが、データベースの更新などにより、平成23年から未納の方と平成24年から未納の方のリストとなっています。可能であれば声かけ等をお願いします。

工藤理事：見方が分からぬのですが。かたや3年で、もう一方は2年でしょうか。東京都の退会は何年でしょうか。

野口庶務委員長：片方は4年未納で、もう片方は3年未納です。退会規定は、2年以上になります。

工藤理事：退会処理されていないということですか。

野口庶務委員長：そうです。

工藤理事：リストを合わせると120名弱ですが。

篠原会長：この名簿が、何故でてくるかというと、日本診療放射線技師会が、まだ処理していないためです。個人情報ですので取り扱いは注意していただいて、誰でも声を簡単にかけるわけには行きませんので、親しい方が名簿にいるようであれば、忘れていることもあると思いましてお声掛けをお願いします。

工藤理事：大事なことなので、知り合いの方には声をかけようと思います。

篠原会長：一人でも、二人でも知っている方に声をかけていただきたいです。

工藤理事：60歳以上の方だと、会費減免処置もあります。

篠原会長：ただ、本年度で本人の意思で何名かいますが、その方達は、何年前から会との付き合いを考えていますのでね。そういった方で退会するのか、継続するかという意思が示されてないのが問題となりますね。

工藤理事：既に掲載されている職場にいない方もいます。

野口理事：リストはデータベースのものため、職場にいない方もいると思います。

篠原会長：定年になって、そのままの方もいると思います。

千葉理事：これに載っている方に会誌は届いていないのでしょうか。

野口理事：会員の名簿から出していますので、東京都の会誌は届いています。

千葉理事：これは、かなりの額になるので、まとめて払わないとダメなのでしょうか。

葛西副会長：ダメではないと思いますが…。

篠原会長：継続する意思のある方は半分でも払っていると思いますし、本当に継続する意思のない方は全く払わないと思われます。本来は退会するとしても、その年まで払って退会が本筋です。

工藤理事：年に何回、請求していますか。

野口理事：年に3回、未払いの年度から請求しています。

葛西副会長：施設名が書かれていますが、その施設にいな方もあります。個人情報ということもあり、取り扱いは注意して下さい。再度、声かけをお願いします。

篠原会長：これに関して、われわれもただ指を咥えて待っているだけにも行きませんので、いろいろな方法を考えたいと思います。請求は一括で日本診療放射線技師会が行っていますが、中澤会長にも他団体の話も取り入れて、口座引き落としなどを推進するようなことの話もしています。実際に、未納退会が減ったという事例もあります。

工藤理事：大幅に改善されているところもあります。委員会の中で動かしていただければいいと思います。

篠原会長：日本診療放射線技師会の執行部には、そのような話を推進して下さいとお願いしてみます。

野口理事：あわせて入会決定通知書案を作成しましたので皆さまのご意見をお願いします。

5) 災害対策委員会

3月7日に研修会があります。30名の参加予定ですので広報のほど、よろしくお願いします。

篠原会長：万一に備えての体験ですので、いろいろな地区の方に参加していただき、できれば各地区1名の参加が

あるように声かけをお願いします。

白木副会長：昨年参加しましたが、防護服を着たりできる
体験型の研修会で参加者にはすごく好評の研修会です。

6) 東京都事業・日本診療放射線技師会教育事業

3月1日に静脈注射抜針の講習会が開催されます。日本診
療放射線技師会の会誌に掲載されておりませんが、東京
都診療放射線技師会の会誌に掲載されております。現在
の申し込みが41名となっております。単独で行われる最後
の静脈注射の事業になりますので参加のほど、よろしく
お願いします。

7) 篠原会長

- ・日本診療放射線技師会から給料の状況調査のアンケートについて協力要請がけいています。アンケート調査には母数が必要になり、ホームページからもアンケートに回答できます。2月20日までとなりますので協力できる方はよろしくお願いします。
- ・AACRTについて学術大会の準備委員会を立ち上げたいと思います。実行委員を専門部から選出いたします。皆さまからこんな会場があるという情報があれば連絡いただきたいと思います。規模についても近日に目標数値も提示しますので宜しくお願いします。またAACRTに関しては、シンガポールで大会があり、そこで2019年の開催地について決定します。

8) 厚生調査部

各地域の医療地域のメンテナンスをお願いしたいので、
以前お渡しした資料を見直ししていただき、3月末まで
に厚生調査部に報告して下さい。詳細については再度送
らせいただきます。

9) 第5地区

2月12日（木）19:00～に第5地区研修会を東大病院で
開催します。患者さんを移動する際のポイントを理学療
法士の方に解説していただきます。参加・協力お願いし
ます。

10) 第15地区

平成27年2月10日（火）19:00～20:30に第15地区研
修会「業務で出会う医療機器を理解しよう」を帝京大学
溝の口病院で開催します。参加・協力お願いします。

今後の予定

年度末になります。予定表（添付ファイル）の確認をお願
いします。ファイルは随時更新していますが、ブッキング
や間違えなどがあれば、石田総務委員長までご連絡ください。

以上

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立69年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師(臨床実務経験5年以上)、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学校名：東京電子専門学校

住所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇

賞与(昨年度実績5.45月)、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00(実勤7時間)、週休2日(土日祭休)休出は代休有、半日有給制度有

社会保険：社会保険完備(私学共済)

宿舎の有無：なし

応募方法：履歴書(写)、職務経歴書、資格者証のコピー(必要なもののみ)、通勤可能な方、
担当できる教科(可能であればお知らせください)

担当者：脇坂 哲夫 E-mail : wakisaka@tokyo-ec.ac.jp

TEL : 03(3982)3131(大代表) FAX : 03(3980)6404

平成26年度1月期 会員動向

(平成27年1月)

総会員数		正会員						賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編出・入	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
25年度集計	2008	1822	105	16	11	60	-6 0 1	186	7	1	5	6	6 0 -1
H26.4	2010	1825		10	3	3	-1	185			1	1	1
H26.5	2046	1861	38	2	1	3		185					
H26.6	2071	1886	23	3	1			185					
H26.7	2098	1913	29	3	1	4		185					
H26.8	2103	1919	7	2	2	1		184				1	
H26.9	2104	1921	6		2	2		183				1	
H26.10	2125	1942	18	5	1	1		183					
H26.11	2129	2129	8			4		0					
H26.12	2131	2131	7			5		0					
H27.1	2135	2135	7	4	1	6		0					

新卒新入=★

1月度	新入会(7名)	水野 沙紀	順天堂大学医学部附属順天堂医院	5 地区	★
		高橋 拓也	昭和大学藤が丘病院	15 地区	
		井上 拓	日本赤十字社医療センター	4 地区	
		高橋 良輔	滝野川病院	5 地区	
		畠田 瞬	多摩南部地域病院	13 地区	
		坪井 友紀	昭和大学病院	8 地区	★
		安田 匡宏	慈生会病院	10 地区	
転入(4名)	高木 秀徳	電通健康管理センター		4 地区	
	岸保 道子			8 地区	
	渡邊 美紀	ピンクリボンブレストケアクリニック表参道		4 地区	
	瀧本 宗徳	NTT東日本関東病院		8 地区	
転出(1名)	* * * *	→群馬県へ		16 地区	未掲載希望
退会(6名)	工藤 正幸			15 地区	
	廣瀬 理絵子	株日立メディコ		1 地区	
	高橋 新治	吉祥寺榎原クリニック		13 地区	
	梶谷 敏郎			13 地区	
	熊谷 芳幸	順天堂東京江東高齢者医療センター		7 地区	
	植村 義典	東京蒲田医療センター		8 地区	

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成27年度

1. 学術研修会

第18回メディカルマネジメント研修会 平成27年3月

☆第14回サマーセミナー 平成27年8月

☆第14回ウインターセミナー 平成28年1月

2. きめこまかな生涯教育

第55回きめこまかな生涯教育 平成27年5月

第56回きめこまかな生涯教育 平成27年10月

第57回きめこまかな生涯教育 平成28年2月

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第45回日暮里塾ワンコインセミナー（平成27年度フレッシャーズセミナー合同開催）

平成27年5月31日（日）

第46回日暮里塾ワンコインセミナー 平成27年6月12日（金）

第47回日暮里塾ワンコインセミナー（平成27年度フレッシャーズセミナー合同開催）

平成27年6月14日（日）

☆4. 第13回ペイシェントケア学術大会

平成27年6月27日（土）

☆5. 第15回東放技・東京部会合同学術講演会

平成27年9月

6. 集中講習会

第8回MRI集中講習会 平成28年2月

☆7. 支部研修会

多摩支部研修会 平成27年4月28日（火）

城東・城西・城南・城北支部研修会

8. 地区研修会

9. 特別委員会研修会

災害対策委員会研修会

10. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

※公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会 平成27年6月27日（土）

関連団体

超音波画像研究会 第239回定例会 平成27年4月22日（水）

エコーの寺子屋 平成27年5月8日（金）～8月26日（水）

平成27年度フレッシャーズセミナー（第45回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）

平成27年5月31日（日）

平成27年度フレッシャーズセミナー（第47回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）

平成27年6月14日（日）

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

（新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう）

[様式 3]

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号					
氏名	印				
氏名(カタカ)					
性別	男性・女性				
生年月日	昭和	平成	年	月	日生
メールアドレス					

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓(変更後の氏名)	
------------	--

□送付先変更

現在の送付先	勤務先・自宅
新送付先	勤務先・自宅

□住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒一
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒一
	電話	
旧自宅住所		

□その他

通信欄	
-----	--

受付 平成 年 月 日
確認 平成 年 月 日 印

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

Postscript

以前からフリーマーケットに不用品を処分するために参加したかったのですが、なかなか時間が合わないと、大きな荷物を持って会場に赴かなければならぬという煩雑さがどうにも面倒で今まで不要なものは捨ててしまうというリユースな時代に逆行した生活をしていました。

ところが、とうとうフリーマーケットもインターネット上に登場する時代が到来しました。家にいながら不用品を処分できるとあってか最近たくさんサイトが紹介されています。オークションなどとは違うため取引金額も意外とリーズナブルで、値段交渉などのやり取りも簡便にできるため実際便利だなと感心します。

顔が見えない取引なので不安が

ないといえば嘘になりますが、モノであふれかえっていて、時間の取れない我が家にとってはある意味救世主が現れたといつても過言ではないかもしれません。

(ムース)

■ 広告掲載社

(株)グリーンメディカル
コニカミノルタヘルスケア(株)
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
富士フィルムメディカル(株)
(株)森山X線用品



東京放射線 第62巻 第4号

平成27年3月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成27年4月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一
編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康
内藤哲也
岩井譜憲
森美加
中谷麗
柴山豊喜
平田充弘
高橋克行